このたびは、モンパルをお買いあげいただき、ありがとうございます。

お買いあげいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などがございましたら、お買いあげいただいた販売店にお気軽にお申しつけください。

モンパルは道路交通法では「身体障害者用の車いす」であり、歩行者と同様の扱いとなります。運転免許証は必要ありませんが、交通ルール、マナーを守り、安全な走行を心がけてください。

取扱説明書について

この取扱説明書は

- モンパルを運転するときは、必ず携帯してください。
- モンパルを貸したり、ゆずられる場合は、モンパルといっしょにお渡しください。
- なくしたり、汚れて読めなくなったときは、お買いあげいただいた販売店にご注文ください。

リサイクルにご協力を

モンパルのバッテリーには、制御弁式鉛電池を使用しています。ご使用済みの制御弁式鉛電池は、貴重な資源として再利用が可能です。不要になったバッテリーは、お買いあげの販売店へお渡しください。

リサイクルマークについて
矢印を基調にしたマークは、地球の環境保全を考え、制御弁式鉛電池をリサイクルしましょうという願いを込めたものです。

はじめに

この取扱説明書は、お買いあげいただいたモンパルを安全に正しく操作する手助けとして編集されたものです。***モンパルの正しい取り扱い方法や簡単な点検およびお手入れの方法*** について説明しています。
モンパルを運転する前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、モンパルの操作に習熟してください。

安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

取扱いのポイント
指示に従わないと、本機やその他の物が損傷する可能性があるもの

なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

- お客様納車時チェックシートはチェック項目をお答えいただき安全運転説明確認票・商品受領書サイン欄にご署名のうえ、大切に保管してください。
- この取扱説明書の中で、“✕”マークのついたイラストは「その行為の禁止」を示しています。

目　次

第1部　こんなことに気をつけましょう！ 5

安全ラベル 6

安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう 8

第2部　お乗りいただくために 21

各部の名称と取り扱いをおぼえましょう 22

電源スイッチ 24

前進・後進切り換えスイッチ 24

速度設定ノブ（つまみ） 25

走行レバー 25

バッテリー残量計・警報インジケーター 26

ホーン（警音器）スイッチ 26

ウインカー（方向指示灯）スイッチ 27

ヘッドライト（前照灯）スイッチ 27

手動ブレーキレバー（ロック解除レバー付） 28

クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー） 29

バスケットクリップ（J2、J3タイプのみ） 29

アームレスト（J2、J3タイプのみ） 30

取扱説明書の収納場所 30

走行するまえの点検（日常点検） 31

乗車するまえに 31

シートにすわって 32

すこし走ってみて 32

タイヤの点検 33

シートの点検 34

走行するにあたって 35

乗車するまえに確認してください 35

発進するときは 36

停止するときは 40

降車するときは 41

警報機能 42

通常の操作・運転にともなう警報 42

・後進時の警報 42

・ヘッドライト点灯・消灯時の警報 42

・ウインカースイッチ作動時の警報 43

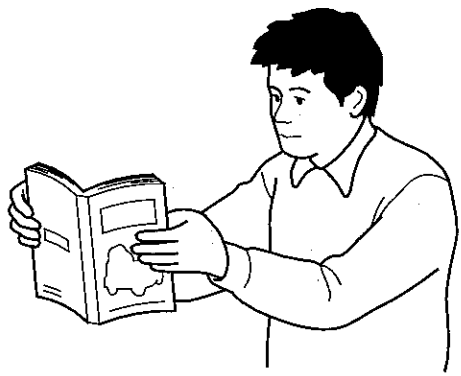
保護機能 43
・電源スイッチ切り忘れ防止機能 43
まちがった操作・運転にともなう警報 44
・誤発進防止警報 44
・走行中前進・後進切り換え時停止機能 44
・充電中走行防止警報 44
・握り込み停止機能／ブレーキロック停止機能 45
・旋回時減速機能 45
故障につながる重大な警報 46
・バッテリー残量警報 46
・急坂（過負荷）警報 47
・モーターロック保護警報 48
・バッテリー過電圧警報 48
手押し移動するときは 49
緊急事態の回避方法 50
走行練習のしかた 52
充電のしかた 55

第3部　お手入れについて 59
定期手入れを行いましょう 60
定期点検項目 60
やさしい点検・整備 64
ヒューズの点検・交換 64
ヒューズ（5A）の交換のしかた 65
ヘッドライトバルブの交換のしかた 66
モンパルの清掃のしかた 67
運搬のしかた 68
長期間使用しないときの手入れ 69
故障のときは 70
故障診断機能 72
定期点検整備の記録 75

第4部　データ 77
同梱部品の組み付けかた 78
主要諸元 81
索引 82

第１部
こんなことに気をつけましょう！

安全ラベル 6
安全にお使いいただくために
これだけはぜひ守りましょう 8



安全ラベル

モンパルを安全に使用していただくため、モンパルには安全ラベルが貼ってあります。***安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。***

安全ラベルは、ハッキリと見えるように、きれいにしておいてください。

モンパルに貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、新しいラベルに貼り替えてください。また、安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しいものを貼ってください。

安全ラベルはお買いあげ販売店にご注文ください。

⚠ 注　意

事故防止のため、下記および取扱説明書を読み、理解して正しく使用して下さい。

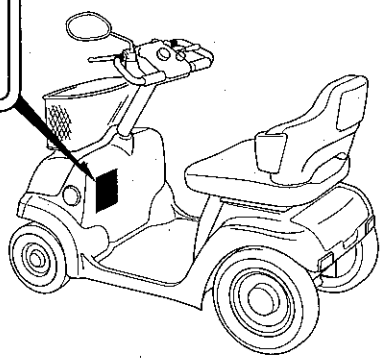
この製品(電動車イス)は歩行者扱いとなります。
交通ルールを守って走行して下さい。

■運転時の転倒・転落防止のため、

- 乗り降りは平坦な場所で行って下さい。
- 急な坂道の走行や、急な傾斜地での斜め走行はしないで下さい。
- 下り坂では、速度設定ノブを"2"の位置で走行して下さい。
- 蛇行運転、急旋回はしないで下さい。
- 9 cm以上の段差や幅12 cm以上の溝のあるところは走行しないで下さい。
- 下り坂を後進で走行しないで下さい。
- 気分がすぐれない時や、飲酒時は運転しないで下さい。
- 側溝や穴の近く及び、路肩付近は走行しないで下さい。
- 雪道・ぬかるみなど悪い路面は走行しないで下さい。
- 積載重量は運転者、バスケット内の荷物を含めて、100 kg以下として下さい。

■駐車・点検時の暴走・巻き込まれ防止のため、

- 平坦な場所に駐車して下さい。
- 後部にあるクラッチレバーは、"自走"の位置にして下さい。

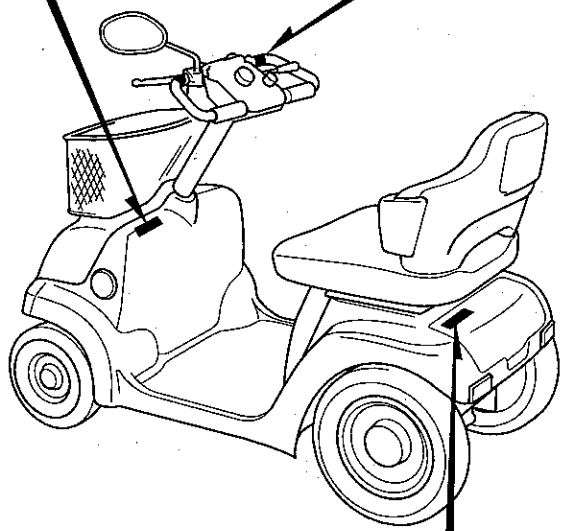


⚠注　意

■降車、駐車時は、必ずブレーキロックをかけて下さい。
ブレーキロックは降車前にかけ、解除は乗車後に
行って下さい。
■走行時は、必ずブレーキロックを解除して下さい。

⚠注　意

緊急停止が必要な場合は、
走行レバーをはなし、
電源スイッチを"切"にして下さい。



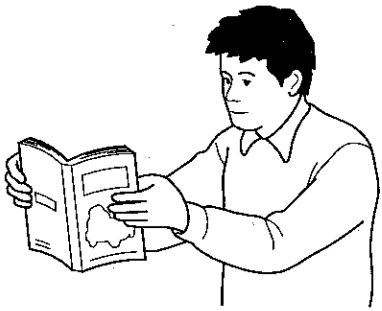
⚠警　告

	クラッチレバーは手押しの必要のあるとき以外は常に"自走"の位置にして下さい。坂道でひとりでに動きだし、衝突・転倒のおそれがあります。
	濡れたプラグや濡れた手で充電しないで下さい。 感電のおそれがあります。
	充電中のバッテリーに火気を近づけないで下さい。 引火爆発のおそれがあります。

安全にお使いいただくために これだけはぜひ守りましょう

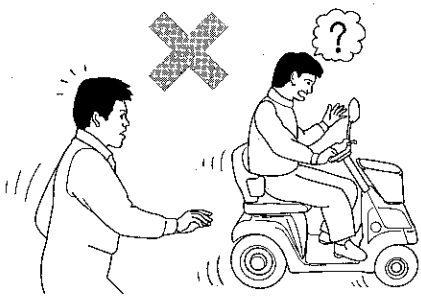
モンパルは快適な乗り物です。でも、こんなことをすると、事故を起こすおそれがあります。安全にご使用いただくために以下のことに気をつけましょう。

ご使用前に！



よく読んで正しい理解を！

- この取扱説明書を事前に読み、正しい取り扱い方法を十分にご理解のうえ運転してください。
- 間違いなく取り扱うために各部の操作になれ、すばやく停止する方法を習得してください。
  （「走行するにあたって」35頁参照）

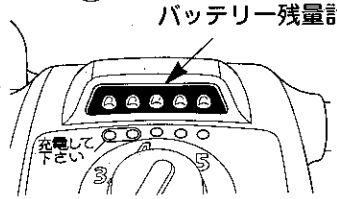


他の人に操作・運転させるときは十分な説明を！

- 適切な指示や説明なしでは誰にもモンパルを操作･運転させないでください。事故やモンパルの損傷が起こる原因となることがあります。

公道を走る前に練習を！

- 操作に慣れるまでは公道を走行しないでください。
  （「走行練習のしかた」52頁参照）



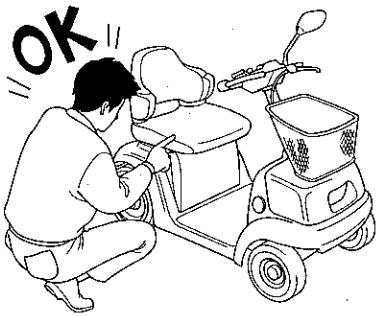
運転を始める前に！

- 運転を始める前に必ずバッテリー残量計を確認し、出発から帰着まで余裕があるか確認してください。
  （「走行距離について」37頁参照）

運転前の注意！

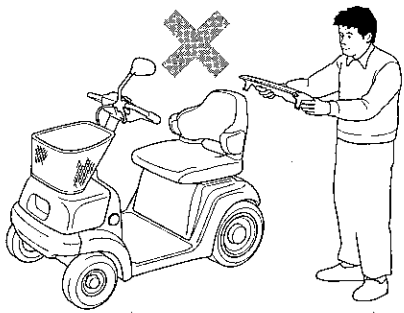
体の調子が悪いと思ったら！

- 疲れているとき、気分のすぐれないとき、飲酒や薬物を服用しているときにはモンパルを運転しないでください。判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。



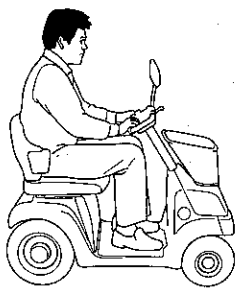
日常点検を行いましょう！

- 日常点検、整備を必ず行いモンパルを常に良好な状態にしておいてください。不具合のある状態で操作すると、ケガをしたリモンパルが損傷を受ける原因となることがあります。



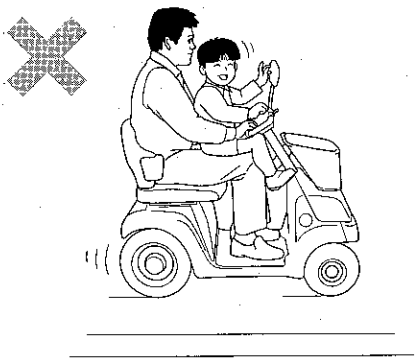
変造･改造は絶対にやめてください!

- カバーやラベル類、その他の部品を外して運転しないでください。
- 誤った部品を取り付けたり改造をしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。



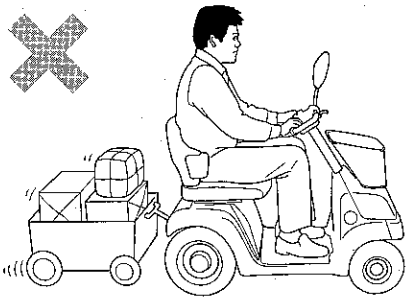
正しい運転姿勢で！

- シートに深く腰かけ、背もたれから背がはなれないようにしっかりすわってください。
- ステップに立ったり、横すわりの状態で運転すると、ケガをする原因となることがあります。



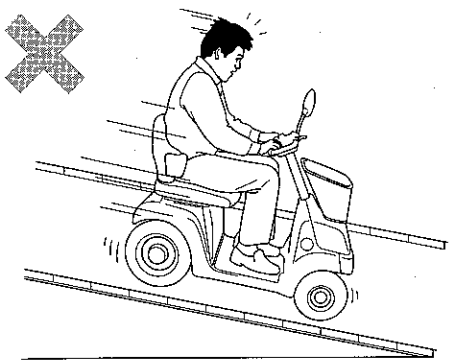
モンパルは遊具ではありません！

- モンパルの乗車定員は1名です。2人乗り（子供も含む）は絶対にしないでください。
- 遊具としての使用など車いす以外の用途に使用しないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。



こんな使い方も危険です！

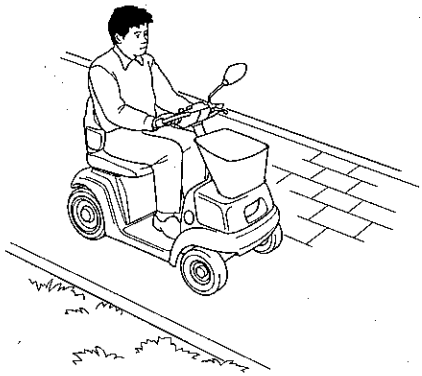
- 荷物のけん引のためにモンパルを使用しないでください。
- 積載重量制限は運転者とバスケット内の荷物（3kg以内）を含めて100kgまでです。



クラッチレバーは“自走”の位置で!

- 必ず、クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）は“**自走**”の位置で乗車および走行してください。クラッチレバーが“**手押し**”の位置のときはブレーキが効かず、重大な事故につながるおそれがあります。（「駐車・停車時の注意！」18頁参照）

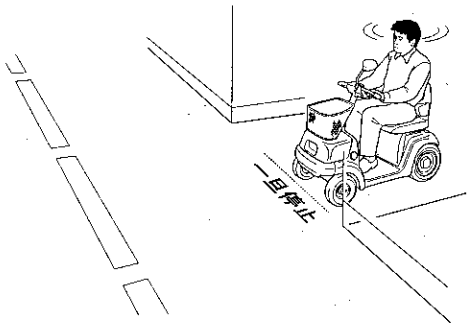
運転中の注意！



ー公道を走るときー

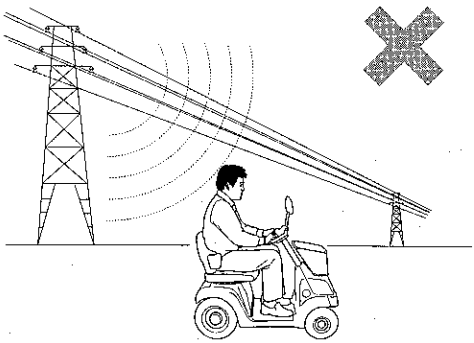
交通ルールを守って運転してください！

- モンパルは道路交通法上では「身体障害者用の車いす」であり、歩行者と同様の扱いとなります。したがって運転免許証は必要ありませんが、交通ルール、マナーを守り、周りの歩行者や自転車などにも十分注意して安全な走行を心がけてください。
- 歩道や歩行者用道路を走行し、横断歩道を渡ってください。歩道のない道路は、自動車や他の交通機関に十分注意して、右側通行してください。



交差点では必ず一旦停止！

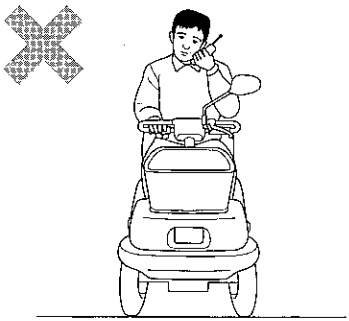
- 交差点では必ず一旦停止し、左右の安全を確認して、ゆっくり発進してください。



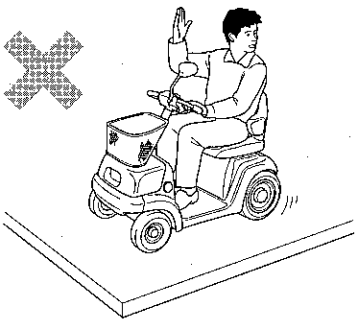
高圧線やテレビ塔の近くは走行しないでください！

- 高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている所での走行は避けてください。

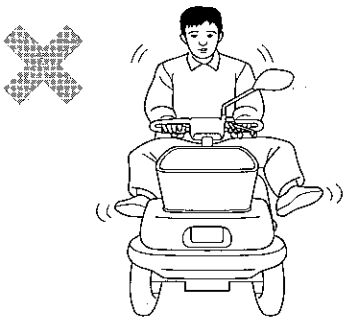
マナーを守りましょう！



- 走行中は携帯電話やトランシーバーを絶対に使用しないでください。使用する場合は安全な所にモンパルを止め、モンパルの電源スイッチを“**切**”にしてください。



- 手放しや、片手およびわき見運転はしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。

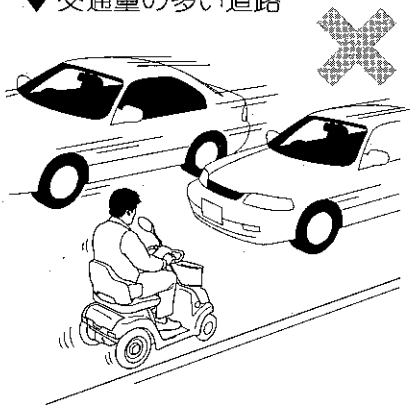


- 走行中に足や体を車体からはみ出ないようにしてください。車体と障害物の間に足や体をはさむと事故につながるおそれがあります。また、他の歩行者の迷惑となるおそれがあります。

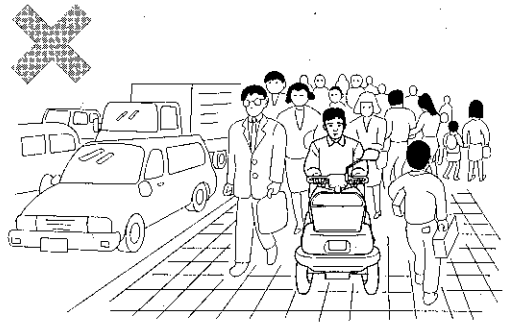
注意すべき走行場所！

- 次のような場所や状況下での走行は、回避するか、介助者に同行してもらってください。

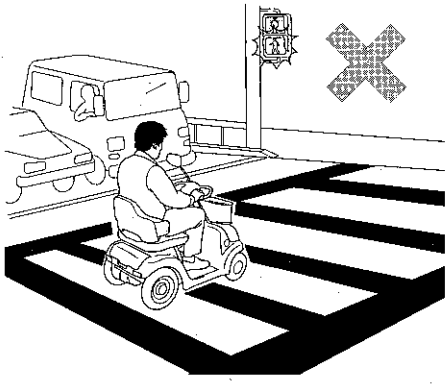
◆ 交通量の多い道路



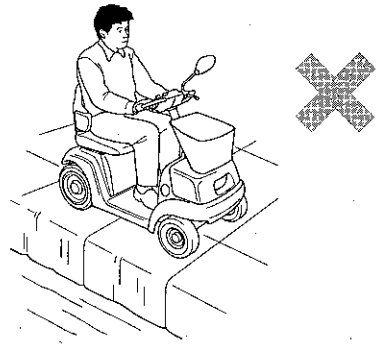
◆ 混雑している歩道



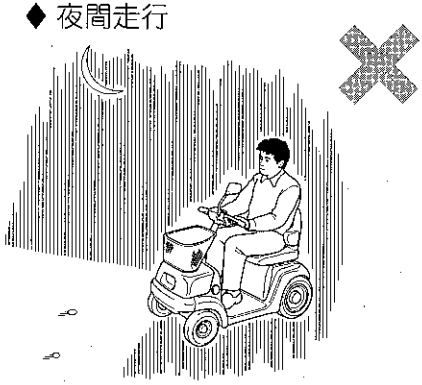
◆ 長い横断歩道



◆ 駅のホームの端、電車に乗るとき、防止柵のない側溝、路肩付近



◆ 夜間走行



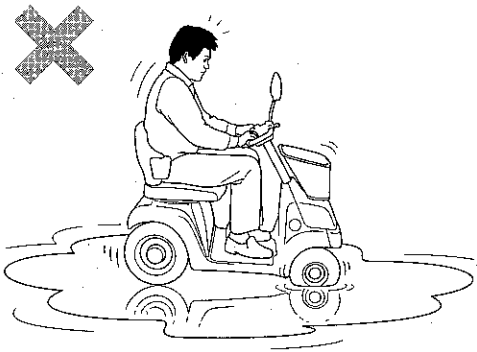
◆ 屋内で使用するときは、4.5km/h以下

次の走行は避けてください！

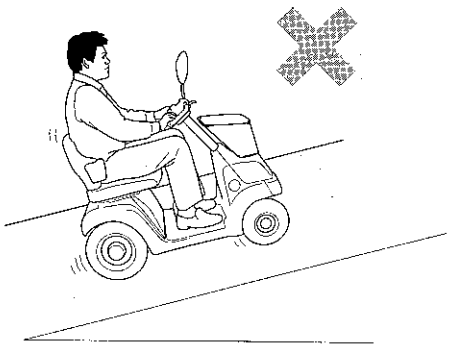
- 次のような場所や状況下での走行は、回避してください。

◆ 悪天候時の走行（雨天・濃霧・強風・降雪時など）

◆ 悪路の走行（ぬかるみ・凸凹道・雪道・凍結路・砂地・砂利道など）

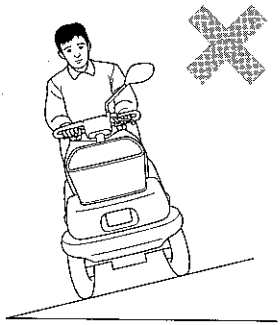


運転中の注意！



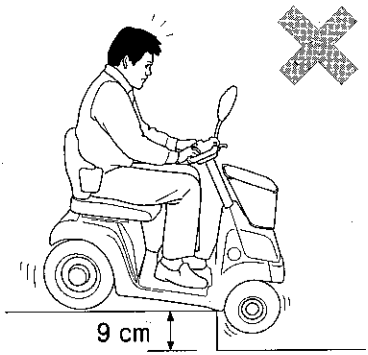
坂道での走行

- 坂道での走行は上り、下りとも十分注意してください。
  - ◆ 坂道では、上り、下りとも前進でまっすぐに走行してください。
  - ◆ 急ハンドルは避けてください。
  - ◆ 下り坂では、速度設定ノブ（つまみ）を“2”の位置にして走行してください。
- 急な坂道でのご使用は避けてください。転倒のおそれがあります。



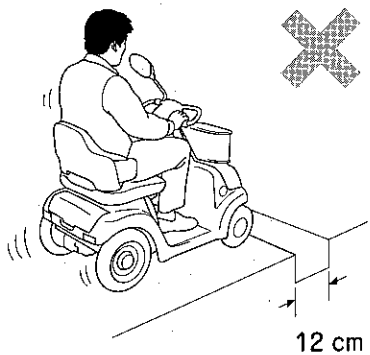
傾斜地での走行

- 傾斜地での走行は十分注意してください。
  - ◆ 傾斜地ではハンドルが取られやすくなりますので、両手でしっかりハンドルを握って走行してください。
- 急な傾斜地での斜め走行は避けてください。転倒のおそれがあります。



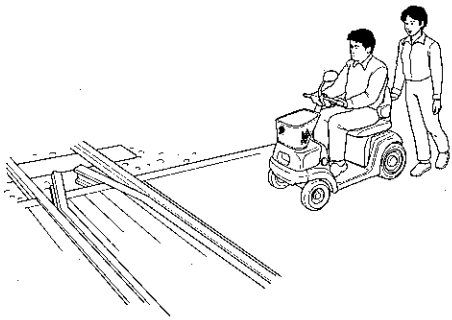
段差や溝を乗り越えるときは

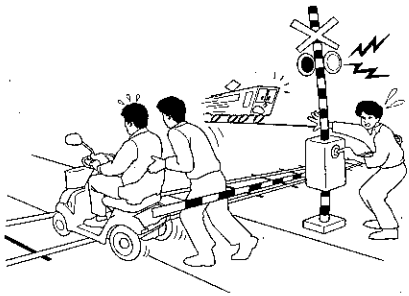
- 大きな段差（9cm以上）や溝の乗り越えはしないでください。転倒するおそれがあります。
  - ◆9cm以下の段差でも、両手でしっかりハンドルを握って、ゆっくりと直角に乗り越えるように走行してください。

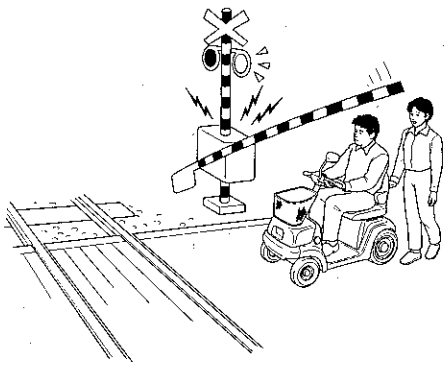


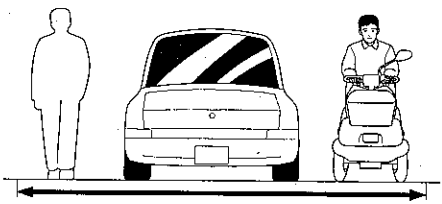
- 幅の広い溝（12cm以上）は乗り越えないでください。転倒したり、動けなくなるおそれがあります。
  - ◆12cm以下の幅の溝でも、タイヤを溝に取られないよう、両手でしっかりハンドルを握って、ゆっくりと直角に乗り越えるように走行してください。

運転中の注意！









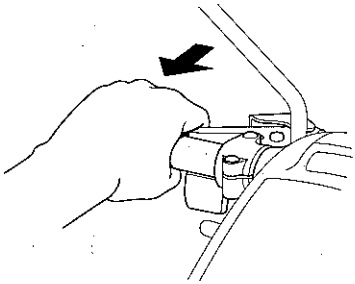
ー踏切の横断ー

- 踏切を横断するときは、必ず、踏切の手前で一旦停止し、左右の安全を確かめてから横断してください。
  線路に対して直角に進入し線路の溝にタイヤを取られないように十分注意してください。（踏切の端は走行しないようにしてください。線路のすきまが大きく、タイヤが落ち込みやすく、危険です。）介助者に同行してもらうようにしましょう。
- 踏切内で動けなくなったときには、近くの人に協力していただき、手押し移動してください。（「手押し移動するときは」49頁参照）
  万一、踏切内から脱出できないような場合には、踏切の非常ボタンを押してください。

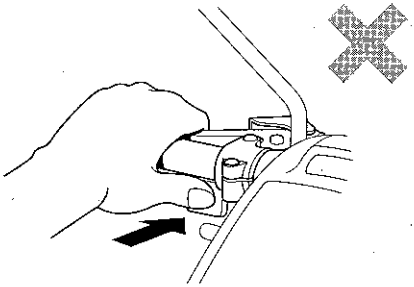
- 踏切を渡ることは状況により大変危険を伴います。事前に介助者と共に次のことを確かめておいて、介助者と一緒にお渡りください。
  - ◆ 警報が鳴り始めてから遮断機が降りるまでの時間に、余裕を持ってその踏切を渡り切れることを確認しておいてください。
  - ◆ 踏切内で対向する車や人があっても、停止することなく容易に対向できる十分な幅があることを確認しておいてください。

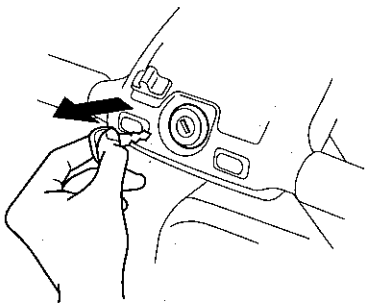
駐車・停車時の注意！

手動ブレーキをかける



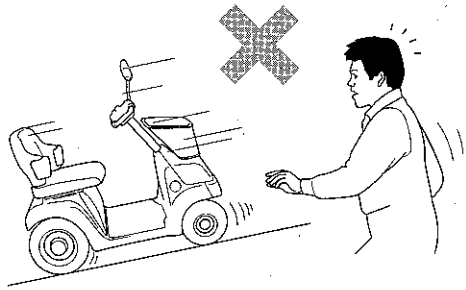
手動ブレーキを解除する





平坦な場所に駐車・停車してください！

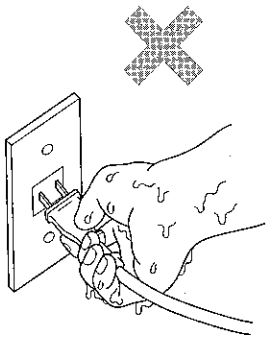
- 平坦な場所を選んで駐車・停車してください。
  - ◆降車時には、必ず手動ブレーキをかけ、ロックがかかったことを確認してください。（手動ブレーキの解除は乗車後に行ってください。）（28頁参照）
  - ◆クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）は“**自走**”の位置のままにしてください。“**手押し**”の位置にすると、手動ブレーキを解除したときに、わずかな傾斜でも動き出してしまい、大変危険です。



電源スイッチキーを抜く！

- モンパルからはなれるときは、他の人が運転できないように、必ず電源スイッチキーを抜いて保管してください。

充電時の注意！



感電に注意！

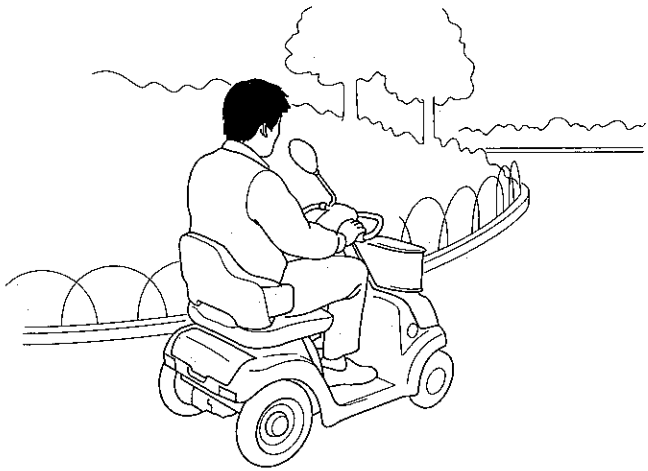
- 感電のおそれがありますので、濡れた手でプラグを握らないでください。手の水分はよく拭きとってください。濡れているプラグはよく乾かしてください。延長コードを使用するとき、屋外でプラグを接続する場合は、水や雨などがかからないように注意してください。
- 損傷・変形のある充電コードやプラグを使用しないでください。感電・ショート（短絡）・発火の原因になります。

引火・爆発に注意！

- 引火・爆発のおそれがありますので、充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。

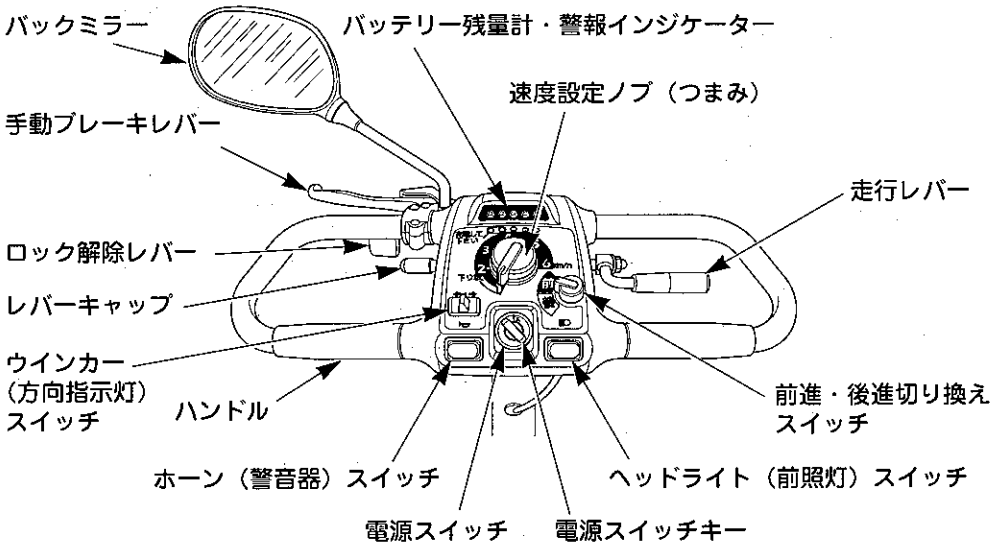
第2部
お乗りいただくために

各部の名称と取り扱いをおぼえましょう 22
走行するまえの点検（日常点検）..... 31
走行するにあたって 35
警報機能 42
緊急事態の回避方法 50

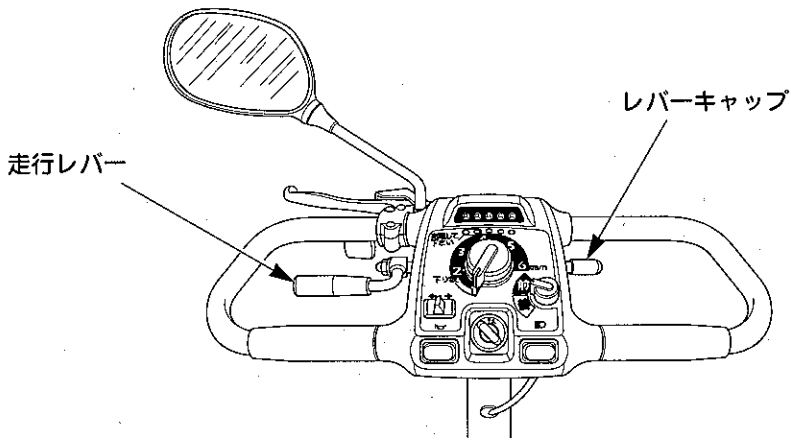


各部の名称と
取り扱いをおぼえましょう

右側走行レバータイプ

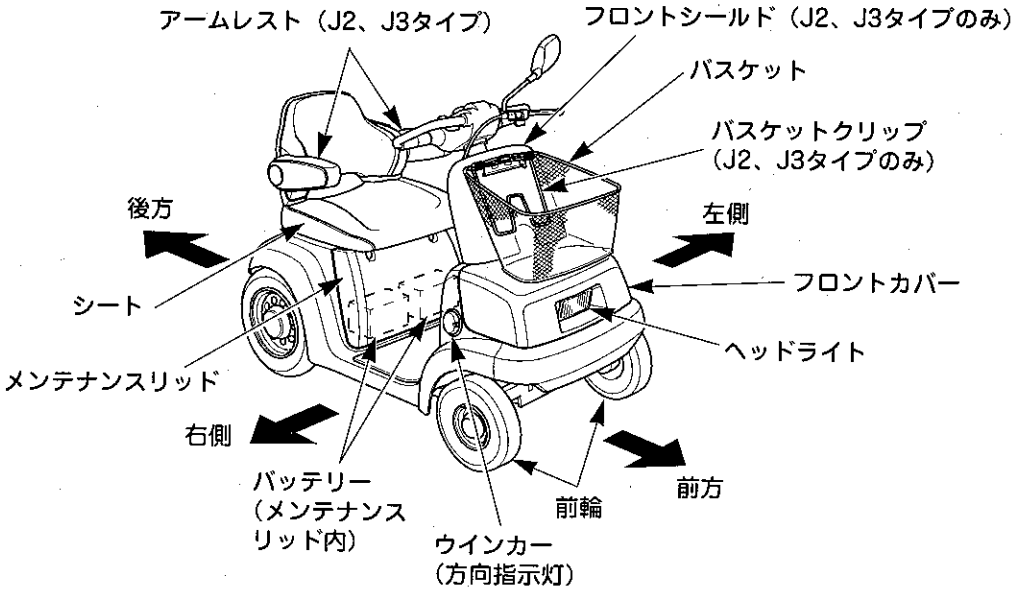


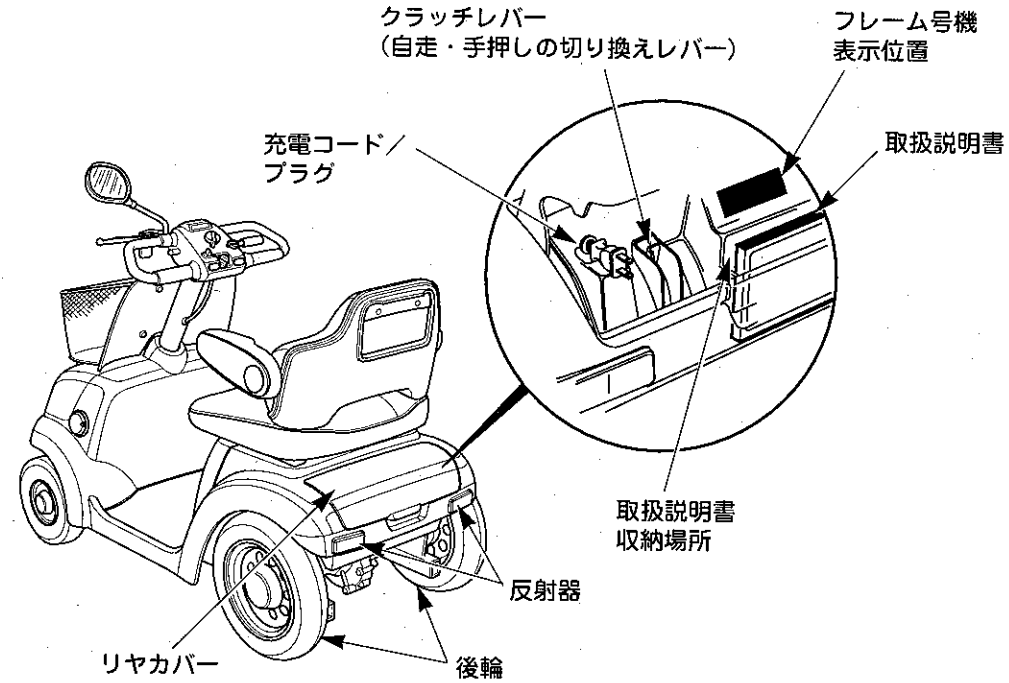
左側走行レバータイプ



⚠ 注意

走行レバーの左右付け替えは行わないでください。
左右付け替えされる場合は、お買いあげ販売店にお申しつけください。


アームレスト（J2、J3タイプ）
フロントシールド（J2、J3タイプのみ）
バスケット
バスケットクリップ
（J2、J3タイプのみ）
後方
左側
シート
フロントカバー
ヘッドライト
メンテナンスリッド
右側
バッテリー
（メンテナンス
リッド内）
前輪
前方
ウインカー
（方向指示灯）

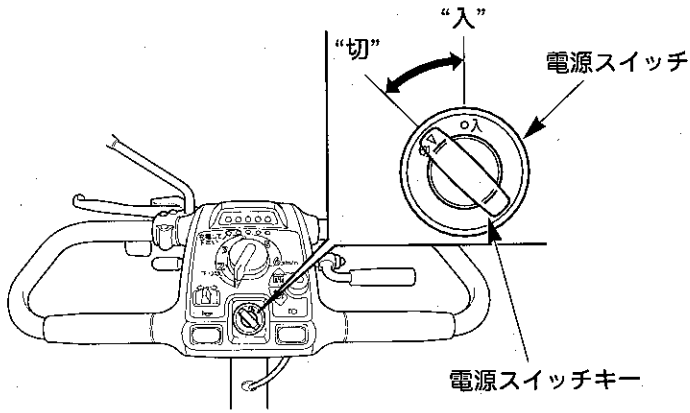

クラッチレバー
（自走・手押しの切り換えレバー）
フレーム号機
表示位置
充電コード／
プラグ
取扱説明書
取扱説明書
収納場所
反射器
リヤカバー
後輪

電源スイッチ

電源を入れるとき、切るときに使用します。

入：走行するときの位置です。

切：停止してキーを抜くとき、充電するとき、格納するときの位置です。

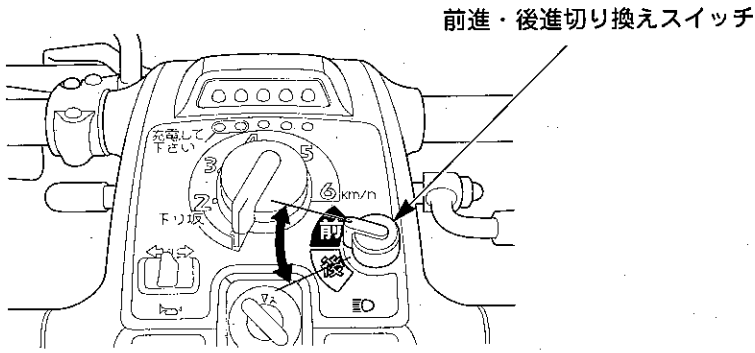


前進・後進切り換えスイッチ

進行方向（前進・後進）を切り換えるときに使用します。

前進するときは“**前**”の位置にします。後進するときは“**後**”の位置にします。

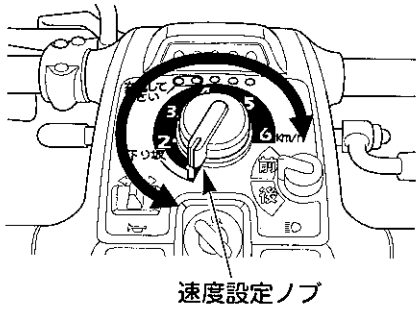
走行中はスイッチを切り換えないでください。



速度設定ノブ（つまみ）

走行速度を設定するときに使用します。

前進するときの走行速度は、1km/hから6km/hまでを無段階に設定することができます。後進するときの走行速度は、1km/hから2km/hまでを無段階に設定することができます。後進するときは、ノブを2以上に動かしても最高速度は2km/hに制限されます。

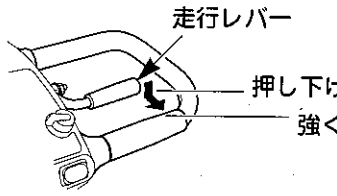


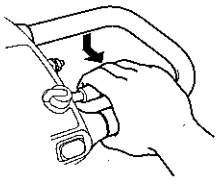
走行レバー

押し下げると発進し、速度が速くなります。レバーの押し加減で、停止状態から設定した最高速度までの範囲で走行できます。レバーから手を放すと自動的にブレーキがかかり、モンパルは停止します。

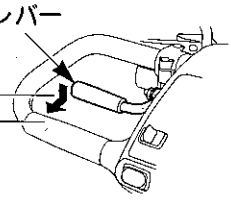
また、走行中にこのレバーを強く握り締めると、ブレーキがかかり、モンパルは停止します。（「握り込み停止機能」45頁参照）

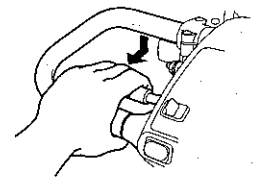
右側走行レバータイプ





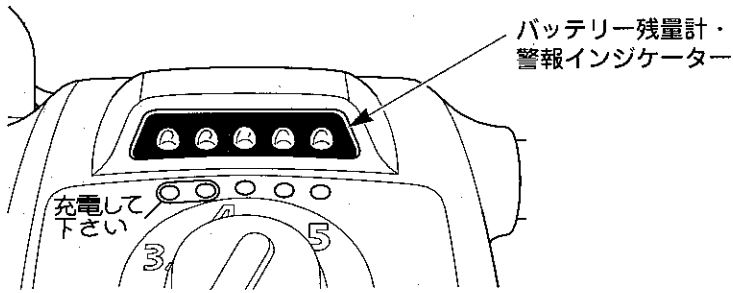
左側走行レバータイプ





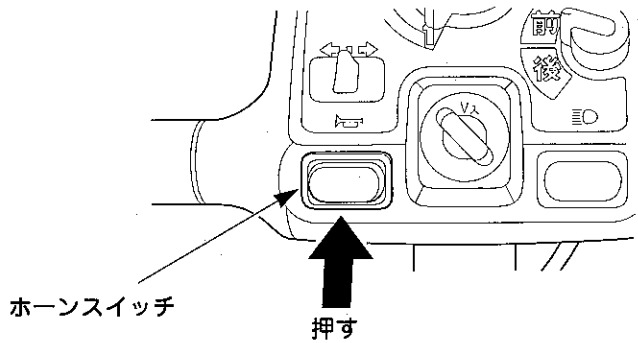
バッテリー残量計・警報インジケーター

通常は、バッテリーの残量を表示します。
また、警報インジケーターとして、警報・保護・故障診断などの内容をランプの点灯・点滅およびブザー音で表示します。(36、42～48、57頁参照)



ホーン（警音器）スイッチ

スイッチを押すとホーン（ブザー）が鳴ります。

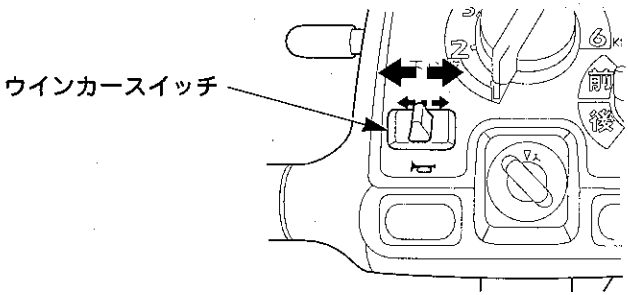


ウインカー（方向指示灯）スイッチ

スイッチを左、右どちらかに動かすと、左、右のウインカーおよびインジケータが点滅します。同時にブザーが鳴ります。もう一度どちらかに操作すると解除します。

解除し忘れた場合でも、停止状態（走行レバーが放された状態）が続くと、10分後に自動的に消灯します。

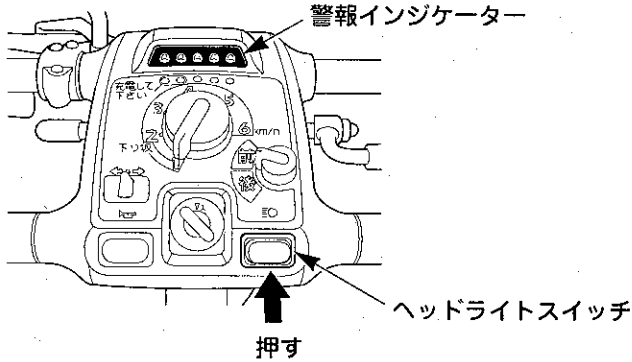
ヘッドライトを点灯すると左右のウインカーも点灯するようになっています。左右のウインカーが点灯しているときにスイッチを動かすと、左、右どちらかに動かしたほうのウインカーが点滅し、反対側のウインカーは消灯します。



ヘッドライト（前照灯）スイッチ

スイッチを押すとヘッドライトおよび左右のウインカーが点灯します。消すときはもう一度押してください。スイッチを押すと同時にブザーが2回鳴ります。

消し忘れた場合でも、停止状態（走行レバーが放された状態）が続くと、10分後に自動的に消灯します。



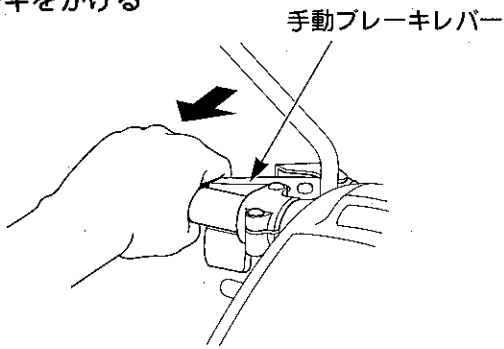
手動ブレーキレバー（ロック解除レバー付）

⚠ 注意

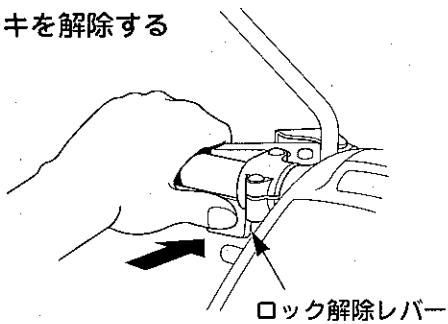
駐車するときおよび手押し移動するとき以外は使用しないでください。

駐車するときや手で押して移動するときに使用します。(41、49頁参照)
手動ブレーキレバーを握り締めると自動的にロックがかかり、手動ブレーキレバーは固定されます。
解除するときは、手動ブレーキレバーをいったん握ってロック解除レバーを押し、ロックを外します。
坂道での連続使用はしないでください。故障の原因となることがあります。
手押し移動するとき（49頁参照）以外はクラッチレバー（29頁参照）を“**自走**”の位置にしてモンパルを使用しますので、走行レバーを放すと、ブレーキがかかり、モンパルは停止します。

手動ブレーキをかける



手動ブレーキを解除する

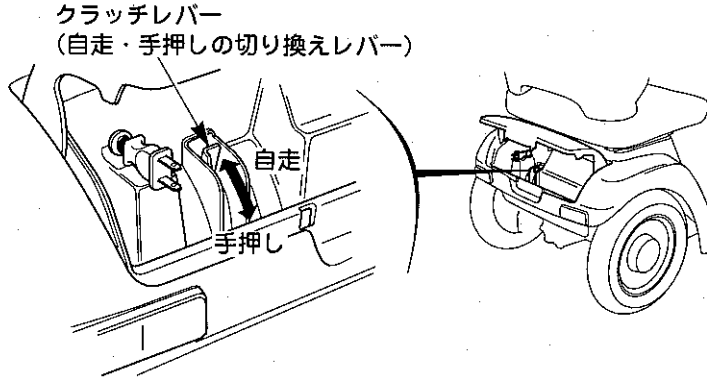


クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）

モンパルを手で押して移動するとき使用するレバーです。平坦な場所に駐車して、電源スイッチを“切”の位置にしてから操作します。

自　走：通常はこの位置にします。走行レバーによる走行ができます。

手押し：緊急時など、モンパルを手で押して移動するときに、この位置にします。この位置では、走行レバーを操作しても走行できません。停止するときは手動ブレーキを使用してください。



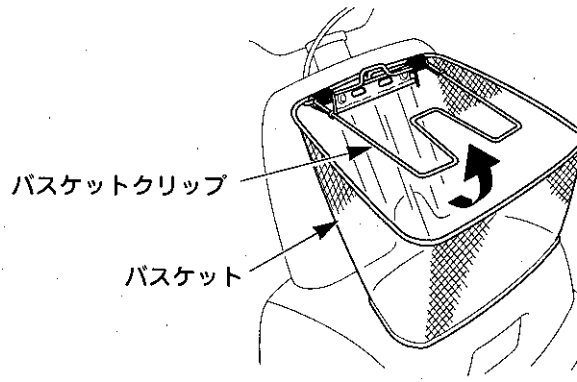
“手押し”の位置では乗車をしないでください！

バスケットクリップ（J2、J3タイプのみ）

バスケットに積載された荷物をはみ出さないように押さえるときに使用します。

⚠ 注意

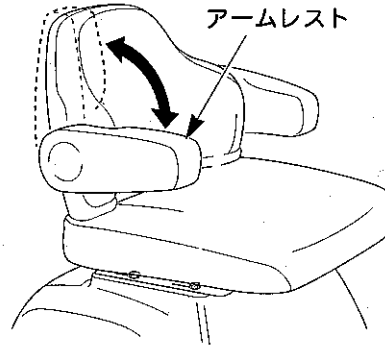
バスケット内の荷物は3kg以下にして、操作は停止状態で行ってください。



アームレスト（J2、J3タイプのみ）

乗車中は前に倒して使います。

乗り降りするときは、アームレストをはね上げると乗り降りがしやすくなります。



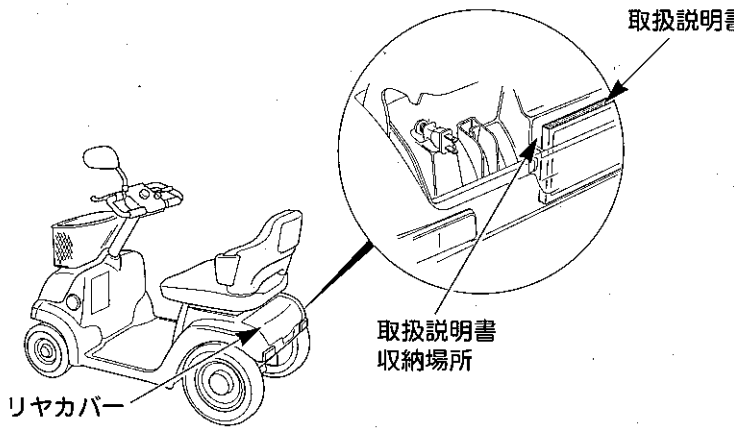
取扱いのポイント

アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

取扱説明書の収納場所

⚠ 注意

取扱説明書以外のもの（延長コードなど）は収納しないでください。



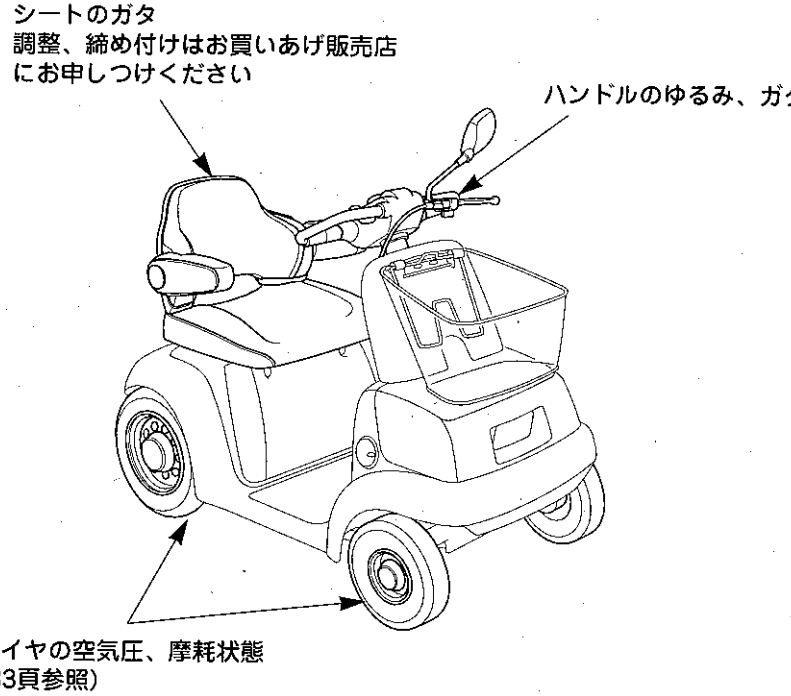
走行するまえの点検（日常点検）

⚠ 警告

- 点検・整備は平坦な場所で、クラッチレバーを“走行”、電源スイッチを“切”の位置にして行ってください。
- 充電中は、点検・整備を行わないでください。

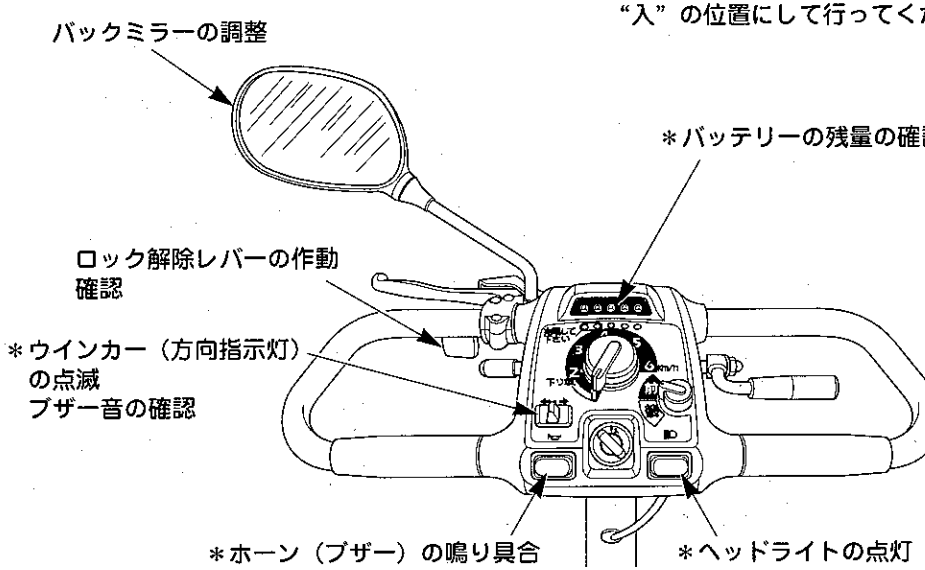
いつも安心して使用するためには日常の点検・整備が必要です。忘れずに行ってください。異常がみられた場合は使用しないで、お買いあげ販売店へお申しつけください。

乗車するまえに

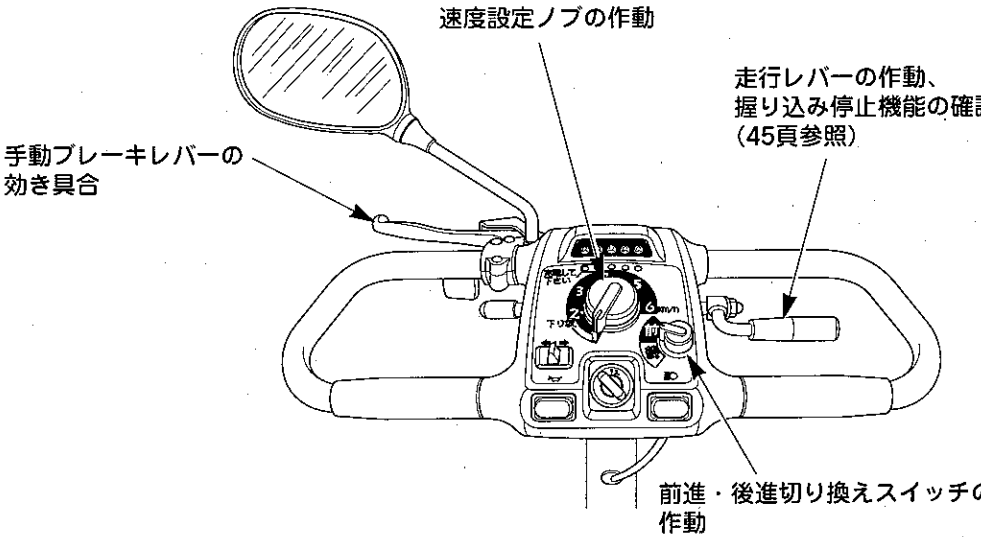


シートにすわって

＊：＊印のついた点検は電源スイッチを“入”の位置にして行ってください。



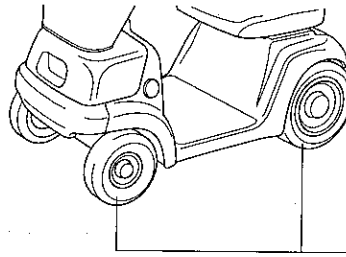
すこし走ってみて



タイヤの点検

● 空気が減っていたら

自動車用またはオートバイ用の空気入れで、規定範囲内になるように空気を入れてください。



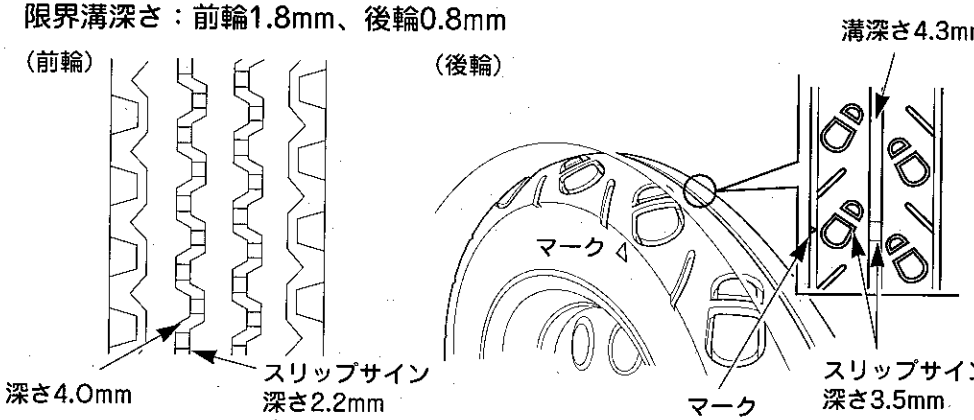
タイヤの適正空気圧（前・後輪）
1.6～1.7kg/cm² (157～167kPa)

● 溝が減っていたら

スリップサインが表れたら、早めにタイヤを交換してください。

> ⚠ 注意
>
> • スリップサインはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が浅くなっています。

限界溝深さ：前輪1.8mm、後輪0.8mm



● タイヤの交換は

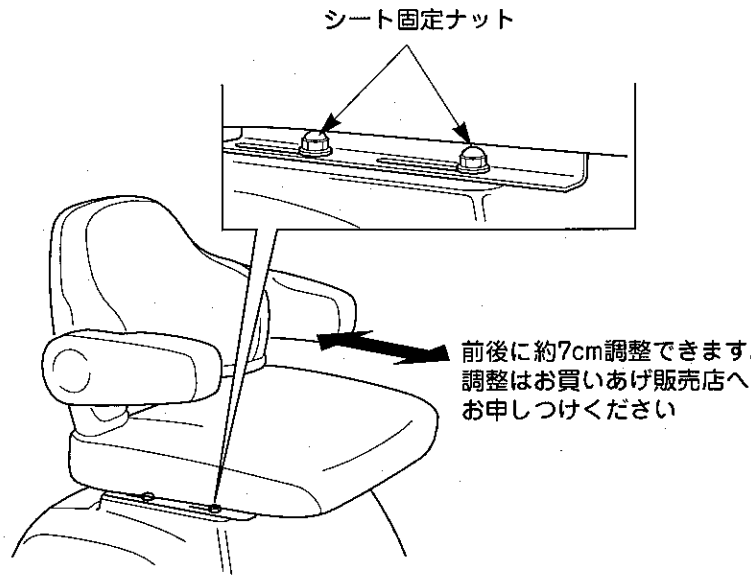
お買いあげ販売店にお申しつけください。

シートの点検

乗車まえにシートにガタがないか点検してください。シート位置の調整およびシート固定ナットの締め付けはお買いあげ販売店へお申しつけください。

⚠ 注意

- **シート固定ナットがゆるんでいたら、ご自身で締め付けた後、必ずお買いあげ販売店でもう一度確認してください。走行中にシートが動くと、操作を誤り、事故の原因となることがあります。**

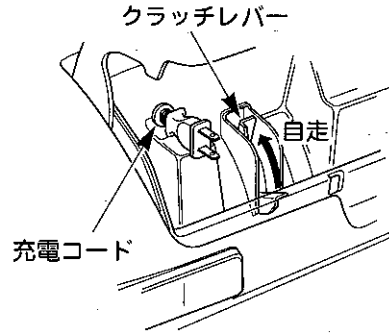


走行するにあたって

乗車するまえに確認してください

1. クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）が“**自走**”の位置になっているか確認してください。

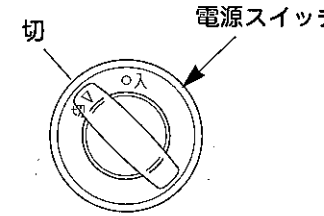
> ⚠ 警告
>
> **クラッチレバーを“手押し”の位置で乗車しないでください。下り坂ではブレーキが効かず、停止できなくなり、事故につながるおそれがあります。**



2. 手動ブレーキレバーがロック解除レバーで固定されているか確認してください。（28頁参照）

3. 充電コードがきちんと収納されているか確認してください。

4. 電源スイッチが“**切**”の位置になっているか確認してください。



5. シートに深く腰かけ、シートがしっかり固定されていることを確認してください。
   ステップに立ったり、横すわりの状態で運転しないでください。
   足元には荷物を置かないでください。

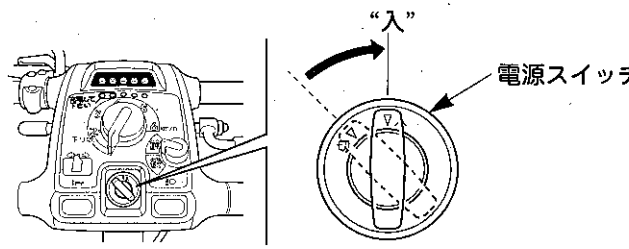
6. 後方が正しく映るように、バックミラーの角度を調整してください。

発進するときは

⚠ 警告

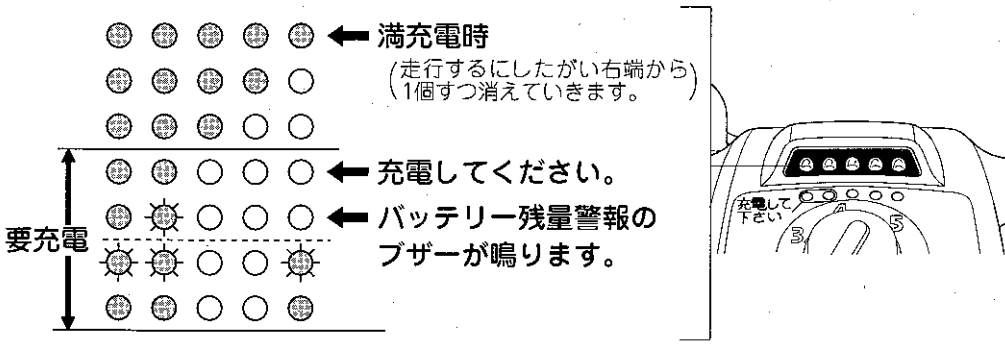
急停止による転倒のおそれがありますので、走行中に電源スイッチを“切”の位置にしないでください。

1. 走行レバーを放した状態で電源スイッチを“**入**”の位置にしてください。
   走行レバーを押し下げた状態で電源スイッチを“**入**”の位置にすると、誤発進防止警報（44頁参照）がはたらき、走行できません。



2. バッテリー残量計で、バッテリーの残量を確認してください。
   バッテリー残量計のランプが左端2個以下しか点灯していないときは、必ず充電してください。（「充電のしかた」55頁参照）
   そのまま走行を続けるとモンパルは停止して走行できなくなります。

バッテリー残量計の状態（◉：点灯 ☼：点滅 ○：消灯）



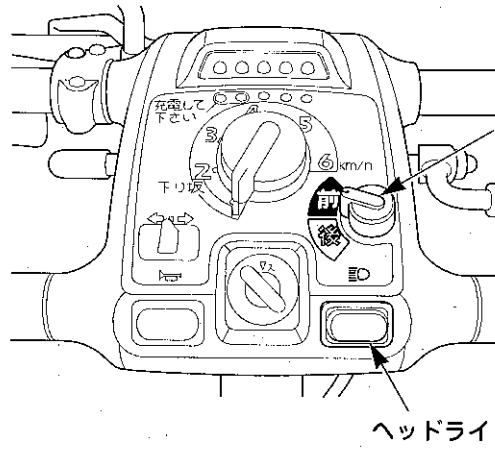
走行距離について

・平坦な道路では、約5km走行すると、バッテリー残量計のランプが1個消灯します。
・冬期はバッテリーのはたらきが鈍るため、夏期にくらべて走行できる距離が2～3割短くなりますので注意してください。
・走行できる距離は、バッテリーの劣化にともなって短くなります。
・満充電時は、5個のランプすべてが点灯し、走行するにしたがい右端から1個ずつ消えていきます。

3. 前進・後進切り換えスイッチの位置を確認してください。
必要ならヘッドライトを点灯してください。

⚠ 注意

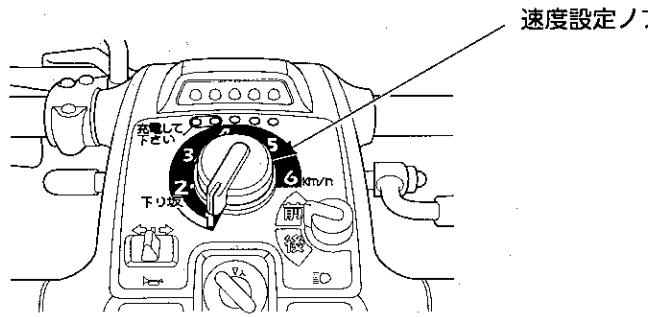
走行中は前進、後進切り換えスイッチを操作しないでください。操作するとモンパルは停止します。(44頁参照)



4. 速度設定ノブを任意の位置にしてください。

⚠ 注意

速度設定ノブは走行前に操作してください。やむをえず走行中に速度設定ノブを動かす必要のあるときは、ふらつかないように走行レバー側の手でハンドルをしっかり握った状態で操作してください。

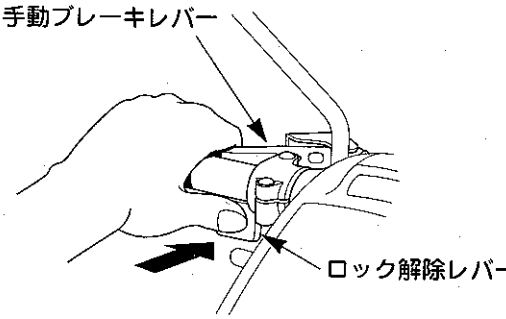


以下に、スピードの目安を示します。

1～2km/h	ゆっくり歩く早さです。人ごみの中・屋内・下り坂を走行するときに使用してください。
2～4.5km/h	ふつうに歩く早さです。通常の屋外走行に使用してください。
4.5～6km/h	早足で歩く早さです。人や障害物の少ない広い平坦な場所で使用してください。

後進時は、ノブを2以上に動かしても最高速度は2km/hに制限されます。

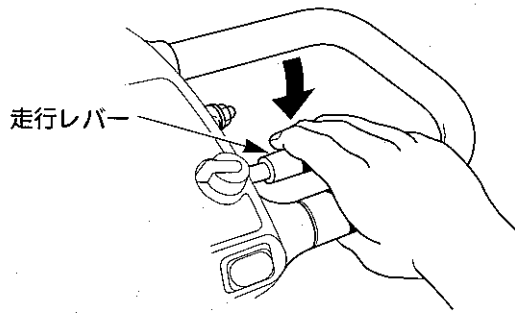
5. 手動ブレーキレバーをいったん握り、ロック解除レバーを押して、ロックを解除します。



6. 走行レバーをゆっくり押し下げてください。
走行レバーの押し下げ加減で停止の状態から設定した速度まで車速を変えることができます。

⚠ 注意

- **バランスをくずし、転倒したり接触事故を起こすおそれがあるので、走行中は車体から身を乗り出したり手足をはみ出させないでください。**
- **衝突・転倒のおそれがあるので、後進するときは後方の段差や障害物に十分注意してください。**

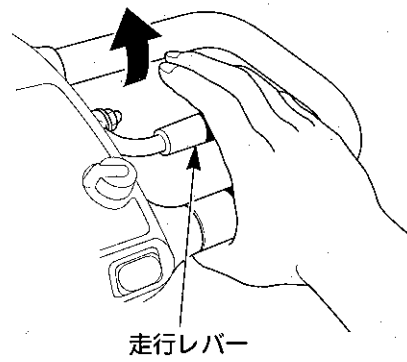


停止するときは

走行レバーから手を放してください。
ブレーキがかかり、停止します。
ゆっくり停止したいときは、走行レバーをゆっくりもどします。

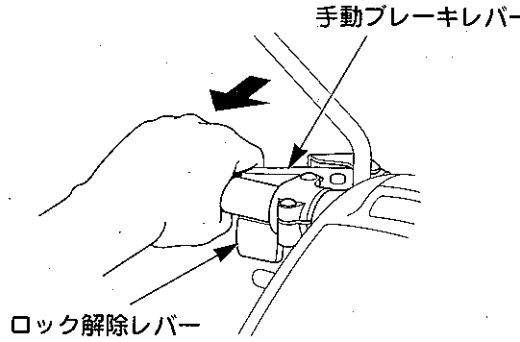
⚠ 注意

- **停止距離は走行速度や路面状態（凹凸、坂、乾き具合など）によって異なりますので、操作は早めに行ってください。**
- **駐停車は坂道を避け、平坦で安全な場所を選んでください。**

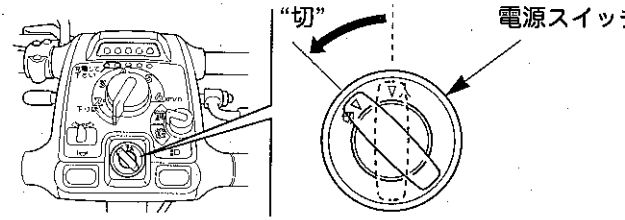


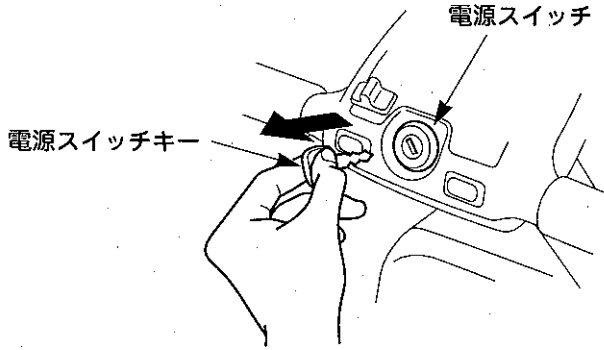
降車するときは

1. 手動ブレーキをかけ、ロック解除レバーがロックされていることを確認してください。



2. 電源スイッチを“**切**”の位置にし、キーを抜いてください。





警報機能

モンパルには、バッテリーの充電不足、事故、および故障を防ぐために注意を必要とする状態を、ブザー音と警報インジケーターの点灯・点滅でお知らせする警報機能がついています。警報の内容に応じて、つぎの説明を参考に、適切に対処してください。

通常の操作・運転にともなう警報

異常ではありません。操作・運転している人に注意をうながします。

● **後進時の警報：**

（警報インジケーターの表示状態を以下のように示します。（●：点灯、☼：点滅、○：消灯））

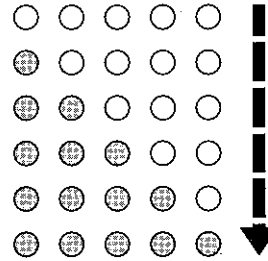
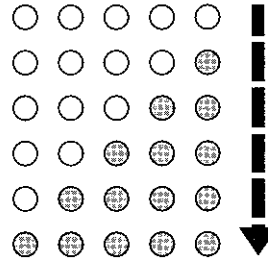
ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯・点滅	原因と対処方法
ピ．ピ．ピ． （1.5秒間に1回）	バッテリー残量表示のまま	前進・後進切り換えスイッチが"後"の位置になっています。 ⇨**後進するときは、後方に十分注意して後進してください。**

● **ヘッドライト点灯・消灯時の警報：**

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯・点滅	原因と対処方法
ピッピッ （ヘッドライトスイッチを押したときに2回）	バッテリー残量表示のまま	ヘッドライトスイッチを押したことを示しています。 （OFF時も鳴ります） ⇨**消灯するときは、ヘッドライトスイッチを押すとヘッドライトが消灯します。**

● **ウインカースイッチ作動時の警報：**

(◉：点灯、✲：点滅、○：消灯)

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッ..ピッ..ピッ.. **(1秒間に1回)**	右折時：  (上記繰り返し) 左折時：  (上記繰り返し)	ウインカースイッチが作動中であることを示しています。 ⇨**右・左折が終了したら、もう一度ウインカースイッチを操作して作動を止めてください。**

保護機能

バッテリーの無駄な消耗を防ぐために、次の保護機能がついています。

● **電源スイッチ切り忘れ防止機能**

(◉：点灯、✲：点滅、○：消灯)

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピィーッピィーッピィーッ **(3分ごとに10秒間)**	バッテリー残量表示のまま	電源スイッチを“入”の位置にしたまま、3分間停止状態(走行レバーが放された状態)が続いています。 ⇨**運転を継続しない場合は、電源スイッチを“切”にしてください。**

まちがった操作・運転にともなう警報

故障ではありません。まちがった操作または無理な操作による事故を防ぐための発進防止および停止機能です。

- **誤発進防止警報**：発進するときに誤った操作をしていることを知らせます。

(●：点灯、✲：点滅、○：消灯)

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッピッ（連続音）	✲ ✲ ✲ ✲ ✲	走行レバーを押し下げたままで電源スイッチを“**入**”の位置にしました。 ⇨**走行レバーを一度放し、もう一度走行レバーを押し下げてください。**

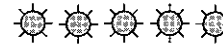
- **走行中前進・後進切り換え時停止機能**

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッピッ（連続音）	✲ ✲ ✲ ✲ ✲	走行中に前進・後進切り換えスイッチを操作しました。 ⇨**走行レバーを一度放し、もう一度走行レバーを押し下げてください。**

- **充電中走行防止警報**

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッピッ（連続音）	✲ ✲ ✲ ✲ ✲	充電中に電源スイッチを“**入**”の位置にしました。 ⇨**電源スイッチを“切”の位置にもどしてください。**

● **握り込み停止機能／ブレーキロック停止機能**

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピッピッピッピッピッ （連続音）		走行レバーを握りしめています。モンパルは停止します ⇨**走行レバーを一度放し、もう一度走行レバーを押し下げてください。** ブレーキロックがかかっています。モンパルは走行できません ⇨**ロック解除レバーを押し、ブレーキロックを解除してください。**

● **旋回時減速機能**

4km/hを超えて走行中にハンドルを切ると、4km/hに減速されます。

故障につながる重大な警報

そのままの状態を続けると故障したり、または再発進するために時間を必要とする状態になることを知らせる大切な警報です。落ち着いて、適切に対処してください。

- **バッテリー残量警報**：バッテリーの残量が少なくなったことを知らせます。

（◉：点灯、✺：点滅、○：消灯）

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピ....ピッピ.... （4秒間に1回）	◉ ✺ ○ ○ ○	バッテリーの残量が不足しています。このまま走行すると段差の乗り越えができなくなります。 ⇨**すみやかに充電してください。**
ピッピッ...ピッピッ.. （1秒間に1回） 上記の状態で走行すると1分間走行後に停止し、同時に警報ブザーが2秒間鳴り、左右のウインカーが点滅します。	✺ ✺ ○ ○ ✺ 1分経過後 ◉ ◉ ○ ○ ◉ 停止	バッテリーの残量が不足しています。 ⇨**直ちに充電してください。充電しないとモンパルは走行できません。**

- バッテリー残量警報により停止した場合でも、電源スイッチを一度“**切**”の位置にもどし、もう一度“**入**”の位置にすることによって、90秒間走行することができます。ただし、バッテリーの残量が不足していますので、何度もこの操作をくりかえすと、モンパルは走行できなくなります。
- 適切な対処を行ったにもかかわらず警報がおさまらなかったり、上記以外の警報（ブザー音や警報インジケーターの表示）が表示されモンパルが動かない場合は、お買いあげ販売店にご連絡ください。警報が発生しているときの状態（警報ブザーおよび警報インジケーターの点灯・点滅しているランプの箇所）を正確にお知らせください。

● **急坂（過負荷）警報：** モーターに過大な電流が流れていることを知らせます。長い上り坂を走行しているとき、モーターや制御ボックスに負担がかかり発熱していることを知らせます。そのまま走行すると故障するおそれがあります。

（◉：点灯、✲：点滅、○：消灯）

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピ....ピッピ.... （1秒間に1回）	✲ ✲ ✲ ✲ ✲	坂道などを走行していて､モーターにかかる負担が大きく、モーターに大きな電流が流れています。 **⇨転倒のおそれがありますので､走行を避けてください。**
ピッピッ..ピッピッ.. （1秒間に1回） 上記の状態で走行すると1分間走行後に停止し、同時に警報ブザーが2秒間鳴り、左右のウインカーが点滅します。	○ ○ ✲ ✲ ✲ または ○ ✲ ○ ✲ ✲ 1分経過後 ○ ○ ◉ ◉ ◉ 停止	モーターや制御ボックスが発熱していますのでそのまま運転を続けると停止します。 **⇨安全な場所に移動し、警報がでなくなるまで停止し、モーターを止めてください。**

- 過熱により停止した場合でも、電源スイッチを一度“**切**”の位置にもどし、もう一度“**入**”の位置にすることによって、90秒間走行することができます。ただし、すでに制御ボックスが発熱していますので、何度もこの操作を繰り返すと、故障するおそれがあります。

● **モーターロック保護警報**：タイヤが大きな段差や深い溝などにはまりロック状態になっているとき、モーターや制御ボックスに負担がかかり発熱していることを知らせます。自動的にモーターへの通電をやめ、モーターを停止させます。

（●：点灯、✹：点滅、○：消灯）

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピッ..ピッピッ.. **（1秒間に2回）** 上記の状態で走行すると、5秒後にモーターが停止し、警報ブザーが2秒間鳴り、左右のウインカーが点滅します。	バッテリー残量表示 3秒経過後 ✹ ○ ○ ✹ ✹ 2秒経過後 ● ○ ○ ● ● 停止	車輪がロックし走行できません。 ⇨**これ以上の段差や溝は乗り越えできませんので回避してください。**

- モーターロックにより停止した場合でも、電源スイッチを一度“**切**”の位置にもどし、もう一度“**入**”の位置にすることによって、走行することができます。

● **バッテリー過電圧警報**：下り坂を走行しているとき、バッテリー電圧が上昇していることを知らせると同時に、車速を2km/hに減速します。

（●：点灯、✹：点滅、○：消灯）

ブザーの鳴り方	警報インジケーターの点灯･点滅	原因と対処方法
ピッピ..ピッピ.. **（2秒間に1回）**	✹ ○ ○ ○ ✹	バッテリーが満充電状態で下り坂を走行していて、バッテリー電圧が上昇しています。 ⇨**バッテリーの劣化を防ぐために自動的に車速を2km/hに減速します。平坦地走行になっても自動復帰はしません。復帰させる場合は、走行レバーを一度放し、停止してから、再度発進します。**

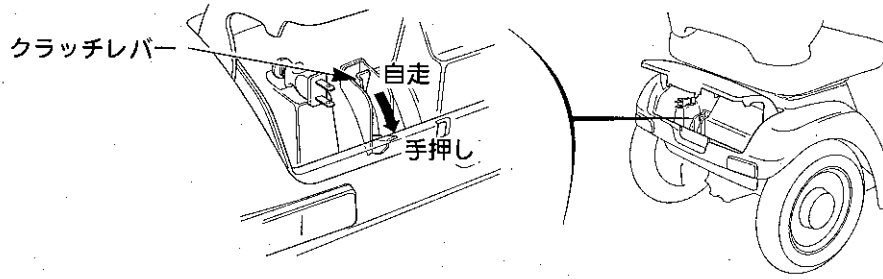
手押し移動するときは

緊急時または故障などでモンパルが動かなくなったとき以外は、手押し移動をしないでください。やむをえず手押し移動するときは、平坦で安全な場所で、クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）を操作してください。

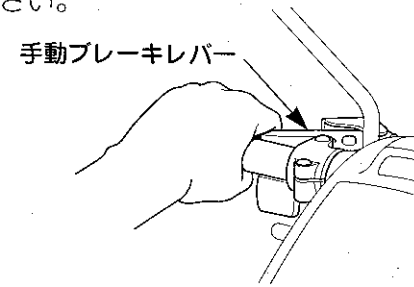
⚠ 注意

- **クラッチレバーを“手押し”の位置にすると走行レバーを放してもブレーキは効きません。手押し移動中に停止するときは、手動ブレーキを使用してください。**
- **クラッチレバーを“手押し”の位置にしたときは乗車しないでください。下り坂ではブレーキが効かず、停止できなくなり、転倒したり、衝突して事故になるおそれがあります。**

1. 電源スイッチを“**切**”の位置にし、クラッチレバーを“**手押し**”の位置にしてください。



2. 手動ブレーキレバーをいつでも操作できる状態にしてハンドルを握り、押して移動してください。

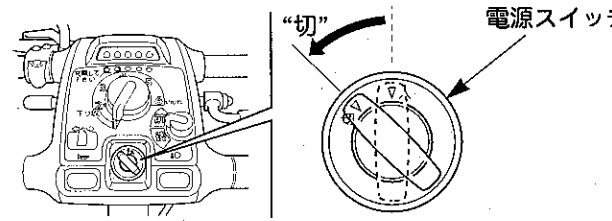


3. 移動後は、クラッチレバーを必ず“**自走**”の位置にもどしてください。

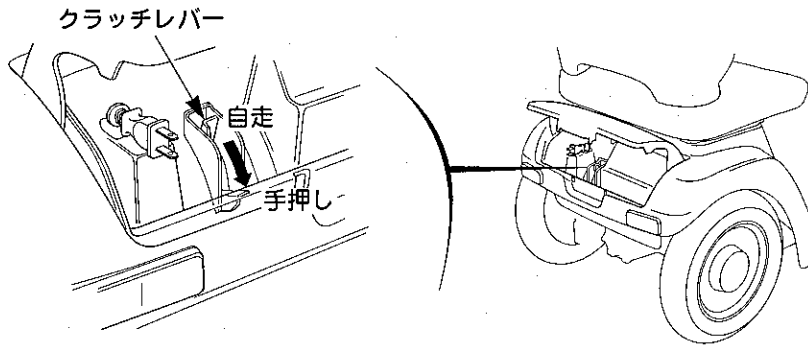
緊急事態の回避方法

走行中に、モンパルが何らかの原因で停止したまま動かなくなった場合、以下の方法で危険を回避してください。

1. 電源スイッチを“**切**”の位置にします。



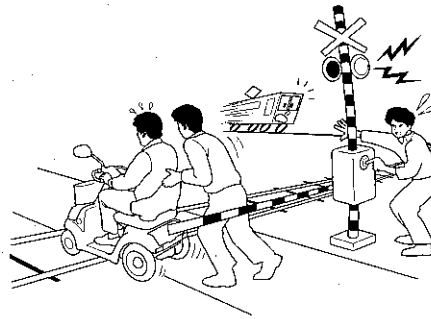
2. クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）を“**手押し**”の位置にします。



3. 手で押してすみやかに安全な場所へ移動します。（「手押し移動するときは」49頁参照）

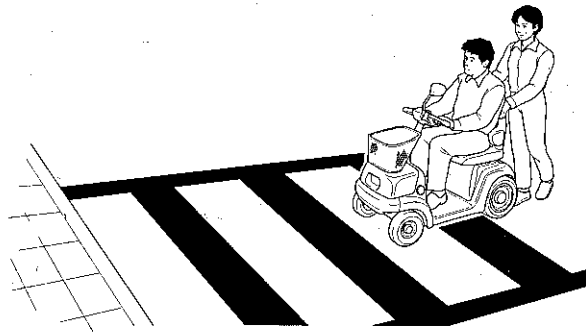
● **踏切内で動けなくなったとき**

タイヤが線路のすきまに落ち込むなどして動けなくなったときは、近くの人に協力をしていただき、クラッチレバーを“**手押し**”の位置にして安全な場所へ移動してください。万一、踏切内から脱出できないような場合には、踏切に備え付けてある非常ボタンを押してください。いずれの場合でもすみやかに判断して行動してください。



● **横断歩道で動けなくなったとき**

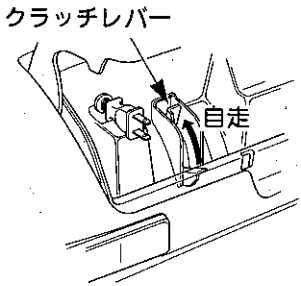
近くの人に協力をしていただき、クラッチレバーを“**手押し**”の位置にして安全な場所へ押してもらってください。

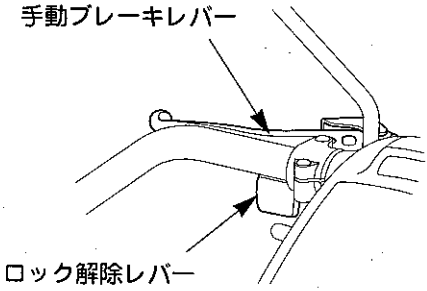


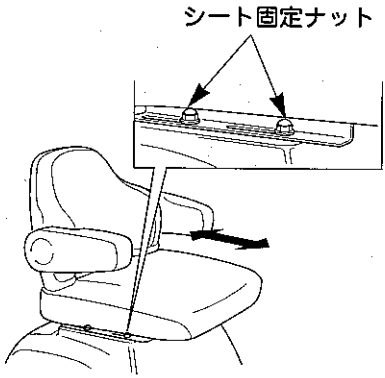
走行練習のしかた

走行練習に入るまえに、「第1部　こんなことに気をつけましょう！」(5～19頁参照)、「第2部　お乗りいただくために」(21～58頁参照) を、必ずお読みいただき、正しい取り扱い方法を十分にご理解のうえ操作してください。
必ず、お買いあげ販売店の方に付き添ってもらってください。

- **走行する前に操作方法を理解しましょう（お買いあげ販売店で説明を受けてください。）**



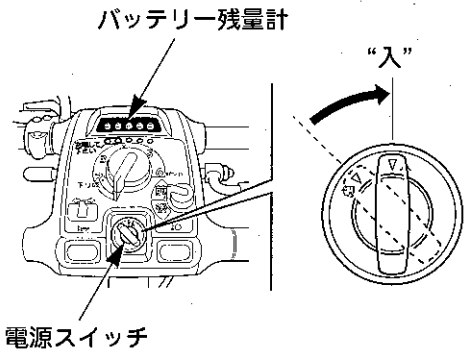




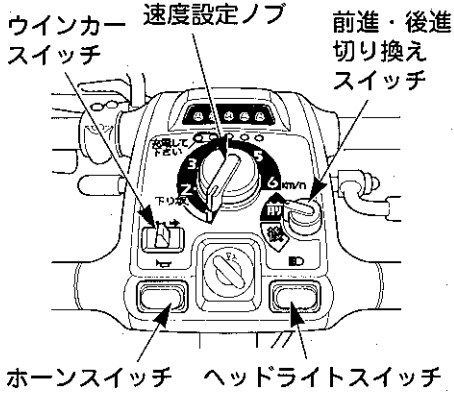
1. クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）が“**自走**”の位置になっているか確認してください。

> ⚠ 警告
> **クラッチレバーを“手押し”の位置で乗車しないでください。下り坂ではブレーキが効かず、停止できなくなり、事故につながるおそれがあります。**

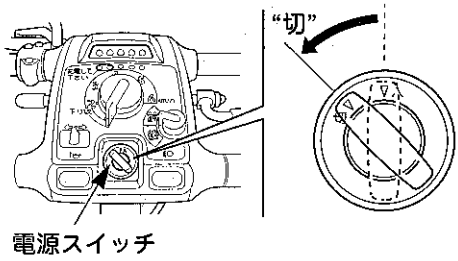
2. 手動ブレーキレバーがロック解除レバーで固定されているか確認してください。
3. シート位置を調整してください。(34頁参照) シートは、前後に約7cmスライド調整できます。運転・操作しやすい位置に調整してください。
   調整後は、必ず、お買いあげ販売店の方にシート固定ナットを締め付けてもらい、シートを確実に固定してもらってください。
4. 後方が正しく映るように、バックミラーの角度を調整してください。
5. ハンドル周辺にある各スイッチ、レバーおよびノブ（つまみ）の役割を確認しながら、覚えてください。

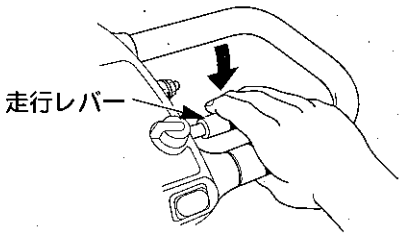


6. 電源スイッチを“**入**”の位置にし、バッテリー残量計を確認してください。左端からランプが3個以上点灯していることを確認してください。
ランプの点灯が2個以下の場合には、充電が必要です。(「充電のしかた」55頁参照)



7. ウインカースイッチ、ホーンスイッチ、ヘッドライトスイッチ、前進·後進切り換えスイッチ、および速度設定ノブを操作して各機能を理解してください。ハンドルを左右に回してみて操作の感じをつかんでください。

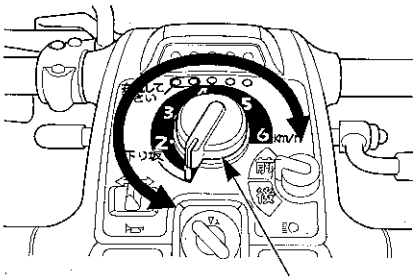




8. 停止した状態で走行レバーを操作してみましょう。
電源スイッチを“**切**”の位置にしてください。
走行レバーを押し下げてみてください。
電源が入っているとこの操作でモンパルは発進·走行します。
停止させたいときは、走行レバーを放してください。

● 実際に走行させてみましょう

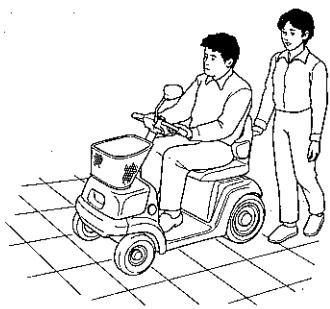
運転に慣れるまでは、十分に広くて安全な場所を選び、障害物がなく、近くに人や動物がいないことを確認して、走行練習してください。運転および各部の操作に慣れるまでは安全のため公道を走行しないでください。



速度設定ノブ

1. 前進・後進切り換えスイッチを“**前**”（前進）、速度設定ノブを“**1km/h**”の位置に合わせてください。
走行レバーを押し下げ、走行させてみてください。
停止させたいときは、走行レバーを放してください。

2. 運転操作に慣れてきたら、速度設定ノブを回し、すこしずつ速度を上げて練習してみてください。また、旋回やゆるい角度の傾斜地走行および低い段差の乗り越えなどを試し、運転感覚を身につけてください。



3. 初めて道路に出るときは、必ず介助者の方といっしょに安全を確かめながら走行してください。

充電のしかた

- 充電の手順

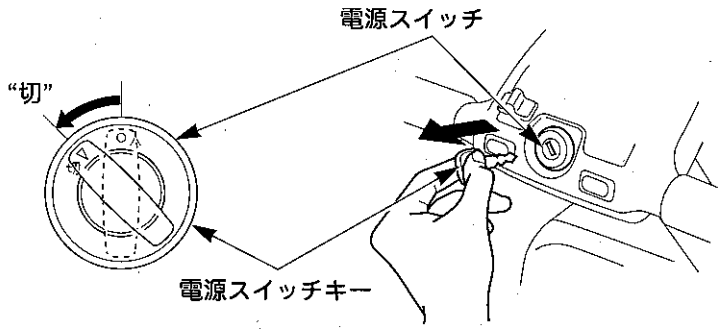
⚠ 警告

- 引火爆発のおそれがありますので、充電中バッテリーに火気を近づけないでください。充電中は、バッテリーから可燃性のガスが発生しますので、火気（ストーブ・たばこの火など）のある場所では充電しないでください。
- 感電のおそれがありますので、濡れたプラグや濡れた手でコンセントにプラグを差し込まないでください。プラグが濡れている場合はよく乾燥させてください。
- 異常充電による事故を防ぐため、必ずモンパルに内蔵の充電器で充電してください。
- 走行が終わったら満充電にするようにしてください。
- 車体カバー（別売）をかけたまま、充電しないでください。
- 直射日光や雨・露の影響を受けない、風通しの良い、湿気の少ない場所で充電してください。

充電時の異常警報機能

充電を開始したとき、異常があると、バッテリー残量計の左端から3、4番目のランプが点灯し、ブザーが2秒間鳴り同時に左右のウインカーが点滅してお知らせします。プラグをコンセントから抜き、お買いあげ販売店へご相談ください。

1. 電源スイッチを“切”の位置にして、キーを抜いてください。

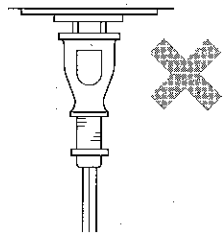


2. モンパルの後部のリヤカバーを開けて充電コード（長さ：約1.5m）を引き出し、プラグを家庭用100Vコンセントに差し込んでください。充電を開始します。このとき、コードの赤印がでたら、それ以上引き出さないでください。コードがもどらなくなります。長さが足りないときは延長コードを使用してください。

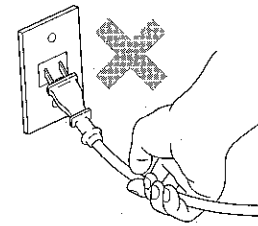
⚠ 警告

- **損傷・変形のある充電コードやプラグを使用しないでください。感電・ショート（短絡）・発火の原因となります。**
- **発熱、破損および感電のおそれがありますので、プラグの抜き差しは確実に行ってください。**

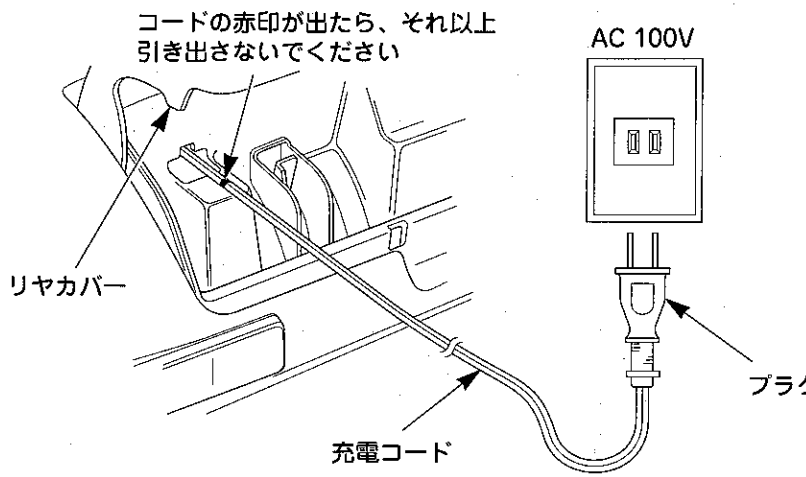
根元まで差し込んでください。



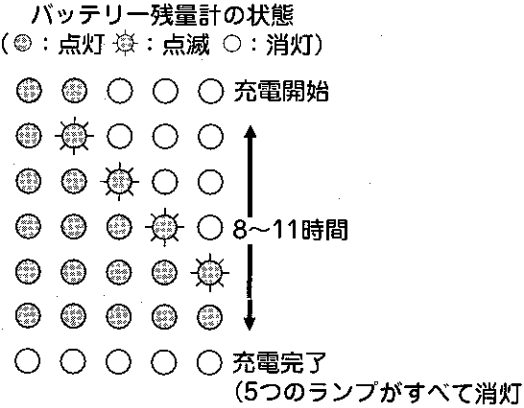
抜くときはコードを持たず、プラグを持って抜いてください。



- **延長コードを使用するとき、屋外でプラグを接続する場合は、水や雨などがかからないようにご注意ください。感電のおそれがあります。**



- 充電が進行するにつれて、バッテリー残量計のランプの点灯個数が多くなり、5個全てが消灯すれば充電完了です。
- 充電を始めてから完了するまでに要する時間の目安は、左端から2個目のランプが点滅している状態から始めて約8～11時間（気温20℃のとき）です。
- 充電が完了すると、充電機能は自動的に停止します。



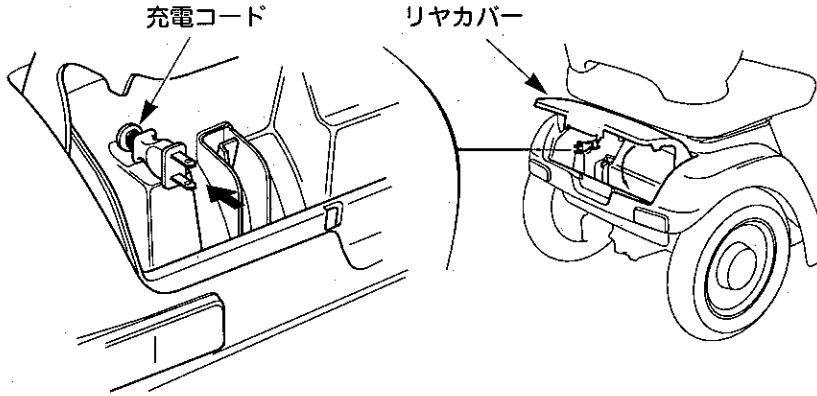
- 満充電状態のバッテリーを充電すると、1分以内に充電完了となり充電機能が停止する場合もあります。
- 充電の途中で充電をやめてしまうと、バッテリー残量計のランプ表示は充電を中止した時点までの充電状態の表示になります。
  再び充電を開始し満充電になると、5つのランプがすべて消灯します（バッテリーが満充電になった状態）。
- 充電中に電源スイッチを“入”の位置にすると、5つのランプがすべて点滅し、走行不可のことを示します。
- 充電は充電完了するまで続けて実施するようにしてください。
- 冬期は気温20℃のときにくらべ約1.5倍の充電時間が必要です。早めに充電してください。

3. 感電や漏電などの事故を防ぐために、充電が完了したらプラグをコンセントから抜いてください。

4. 充電コードをコードリールに収納し、リヤカバーを閉めてください。

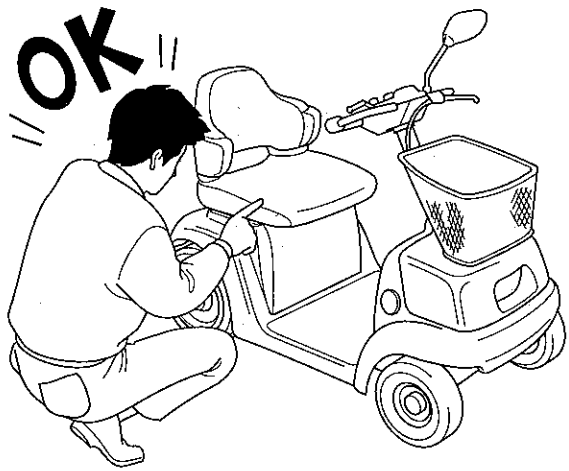
取扱いのポイント

- **充電コードをコードリールに収納するには、一度充電コードを軽く引っぱります。コードリールに自動的に巻きとられますので、手をはなさずしずかにもどしてください。**
- **断線のおそれがありますので、充電コードはコードリールに確実に収納し、リヤカバーではさまないよう注意してください。**



第3部
お手入れについて

定期手入れを行いましょう 60
やさしい点検・整備 64
運搬のしかた 68
長期間使用しないときの手入れ 69
故障のときは 70



定期手入れを行いましょう

定期点検項目

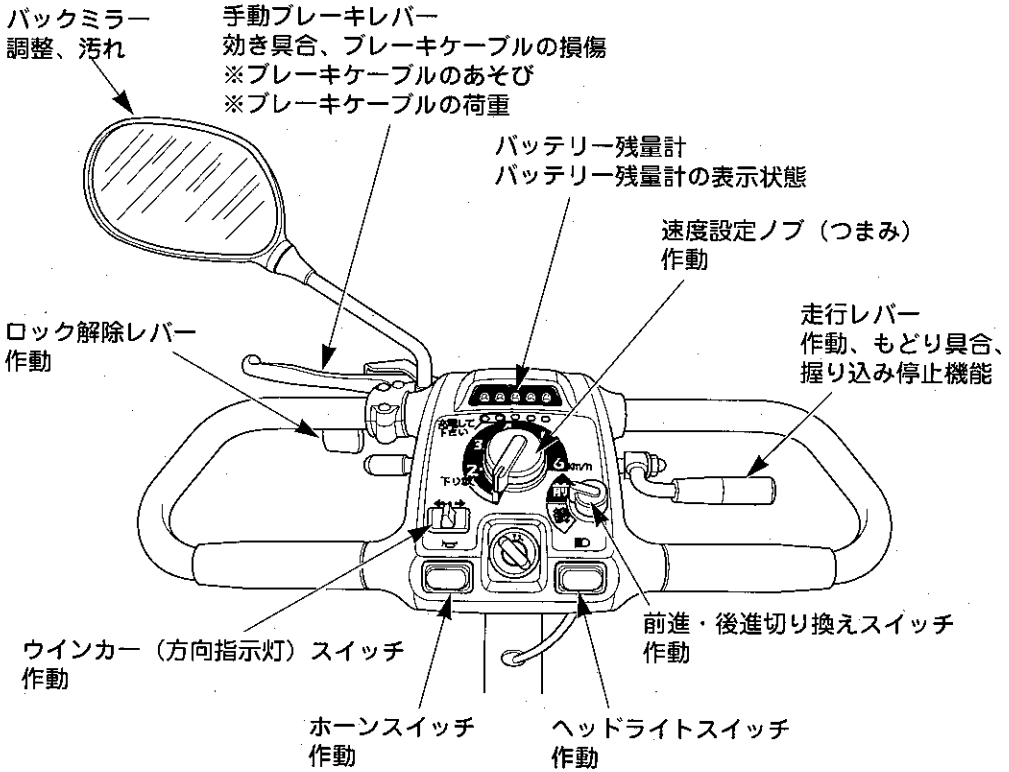
お買いあげいただきました電動四輪車いすモンパルをいつまでも調子よく、長持ちさせるために定期点検を受けましょう。
異常がある場合や定期点検については、お買いあげ販売店にご相談ください。
定期点検は、お買いあげ1か月経過したとき、および6か月毎に実施してください。
長期間使用しなかった場合、必ず定期点検を受けてください。
定期点検を受けたときは、販売店で「定期点検整備の記録」に記入してもらってください。

※：この印の付いた点検の項目は、お買いあげ販売店で行う定期点検項目です。適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげ販売店で行ってください。

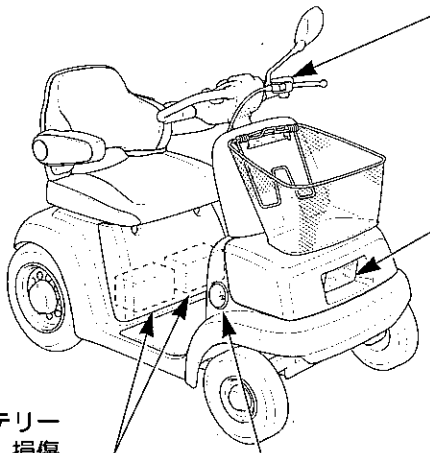
点検箇所	点検内容	点検時期	
		日常点検	定期点検
ハンドル	ゆるみ、ガタ	○	○
	左右のスムーズさ	○	○
	左右の切れ角	○	○
	旋回時減速機能	○	○
	ロック解除レバーの作動	○	○
	バックミラーの調整、汚れ	○	○
走行レバー	作動およびもどり具合	○	○
	握り込み停止機能	○	○
速度設定ノブ（つまみ）	作動	○	○
前進・後進切り換えスイッチ	作動	○	○
ホーンスイッチ	作動	○	○
ウインカー（方向指示灯）スイッチ	作動	○	○
ヘッドライトスイッチ	作動	○	○

点検箇所	点検内容	点検時期	
		日常点検	定期点検
手動ブレーキレバー	手押し状態での手動ブレーキの効き具合	○	○
	ブレーキケーブルの損傷		○
	※ブレーキケーブルのあそび		○
	※ブレーキケーブルの荷重		○
駆動部	モーターの回転状態（異音などの有無）	○	○
	走行のスムーズさ	○	○
	クラッチレバーの作動		○
	ブレーキ（電磁ブレーキ）の効き具合	○	○
	オイルもれ		○
バッテリー	バッテリー残量計の表示状態	○	○
	外観の変形、損傷		○
	ターミナルのゆるみ		○
充電器	コードリールの損傷	○	○
	充電時のバッテリー残量計の表示状態	○	○
タイヤ	空気圧	○	○
	亀裂、損傷	○	○
	摩耗具合	○	○
	※前輪のトーイン量		○
その他	異音、作動のスムーズさ	○	○
	ボルト、ナットのゆるみ		○
	変形、損傷		○
	ケーブルの損傷		○
	カプラのゆるみ		○

点検箇所



※：この印の付いた点検の項目は、お買いあげ販売店で行う定期点検項目です。適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげ販売店で行ってください。

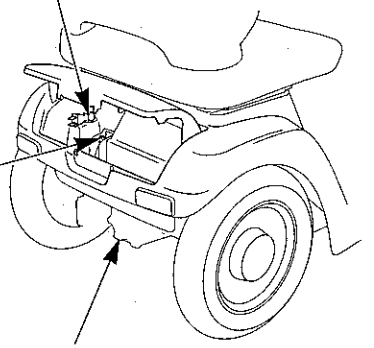


ハンドル
のゆるみ、ガタ、操作のスムーズさ、
異音、左右の切れ角、旋回時減速機能

ヘッドライト
点灯

バッテリー
変形、損傷、
ターミナルのゆるみ

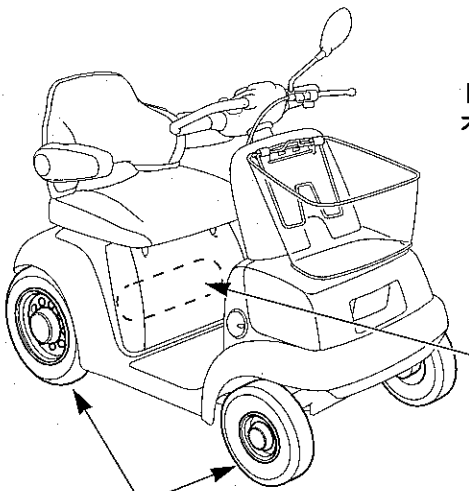
ウインカー（方向指示灯）
点灯



充電器
コードリールの損傷

クラッチレバー
作動

トランスミッション
オイルもれ



モーター
回転状態、異音の有無、
ブレーキの効き具合

タイヤ
空気圧、亀裂、損傷、摩耗
※前輪のトーイン量

やさしい点検・整備

ヒューズの点検・交換

⚠ 警告

- **ヒューズを点検･交換するときは､電源スイッチを“切”にして電源スイッチキーを抜いてください。**
- **充電コードのプラグをコンセントから抜いてください。**

取扱いのポイント

指定ヒューズ以外のもの、たとえば針金、銀紙などを使用すると配線などを焼損させる原因となります。指定ヒューズ以外のものは使用しないでください。

モンパルには電気回路を保護するため、3つのヒューズ（55A、5A、5A）が取り付けられています。ヒューズが切れた場合、その原因を調べ、修理してから規定の容量のヒューズと交換してください。修理しないまま交換したら再び切れるおそれがあります。

● メインヒューズ（55A）

このヒューズが切れると、電源スイッチキーを“入”の位置にしても、バッテリー残量計のランプは点灯せず、走行できません。バッテリーも充電できません。このヒューズの交換は、お買いあげ販売店にお申しつけください。

● コントロール用ヒューズ（5A）

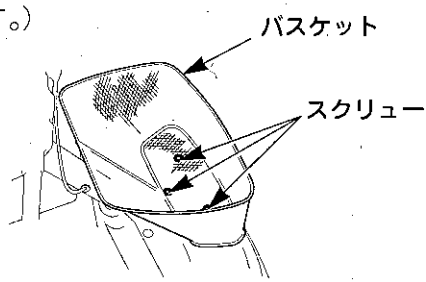
このヒューズが切れると、電源スイッチキーを“入”の位置にしても、バッテリー残量計のランプは点灯せず、走行できません。

● ヘッドライト用／ウインカー用ヒューズ（5A）

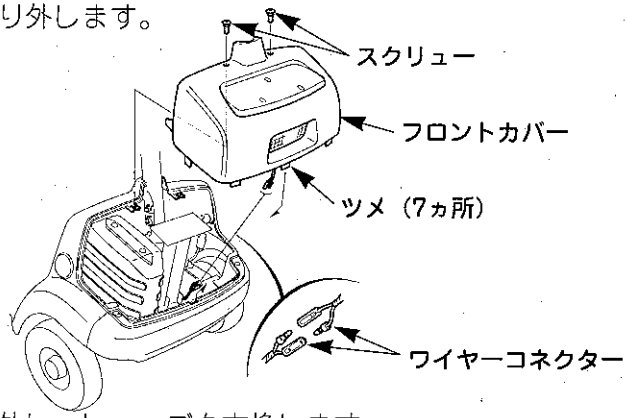
このヒューズが切れると、ヘッドライトおよびウインカーが点灯・点滅しません。

ヒューズ（5A）の交換のしかた

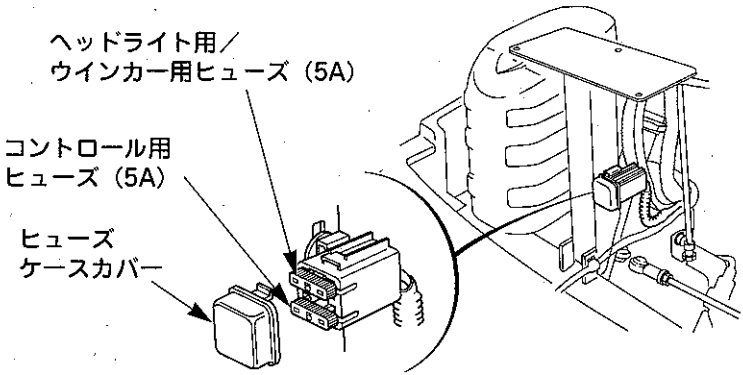
1. 3本のスクリューを外して、バスケットを取り外します。
（J2、J3タイプはフロントシールドとバスケットクリップを取り付けたままの状態で取り外します。）



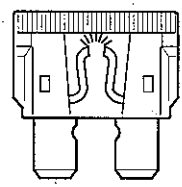
2. 2本のスクリューを外して、フロントカバーを取り外します。
ツメを折らないように注意してください。
3. ワイヤーコネクターを取り外します。



4. ヒューズケースカバーを外し、ヒューズを交換します。

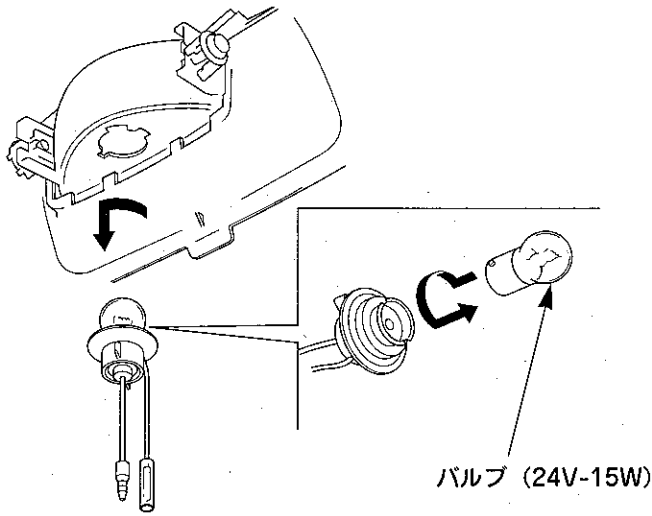


切れたヒューズ（5A）



ヘッドライトバルブの交換のしかた

1. 「ヒューズ（5A）の交換のしかた」（65頁）の手順1.～3.を参照して、バスケット、フロントカバーおよびワイヤーコネクターを取り外します。
2. バルブを交換します。

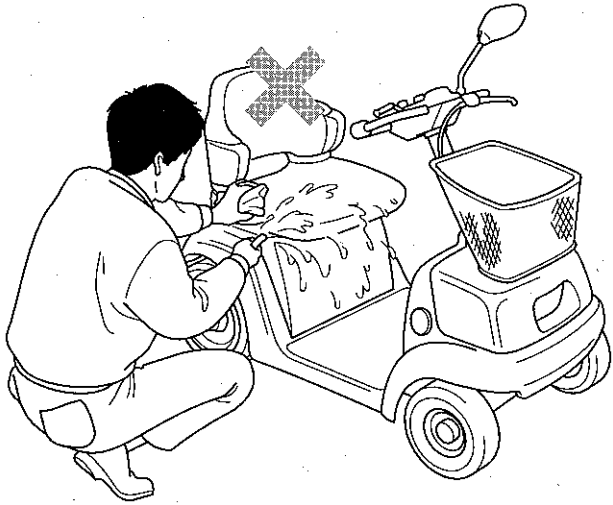


モンパルの清掃のしかた

取扱いのポイント

- **モンパルの汚れを水や中性洗剤をしみ込ませた布などで拭き取る場合は、電源スイッチキーを“切”の位置にして行ってください。充電中は避けてください。**
- **水洗いはしないでください。故障の原因になるおそれがあります。**
- **ガソリン、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変形・損傷の原因となるおそれがあります。**
- **樹脂製のためワックスは使用しないでください。**

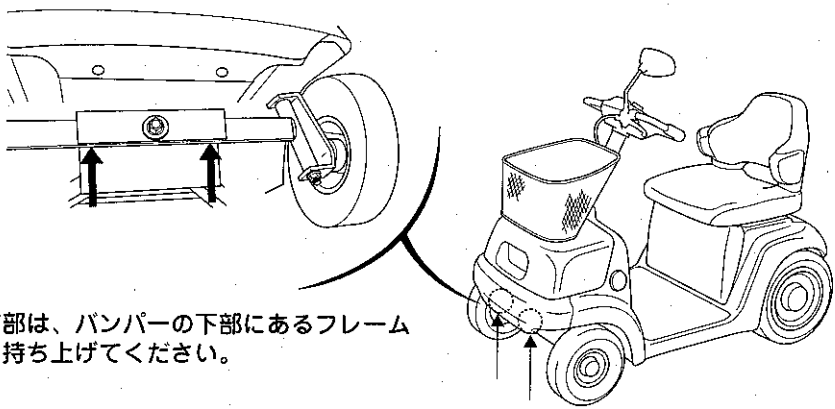
やわらかい布を水ですすぎ、よく絞ってから車体の汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合には、布に中性洗剤をしみ込ませて拭き取り、その後、水気を絞ったやわらかい布で拭いてください。



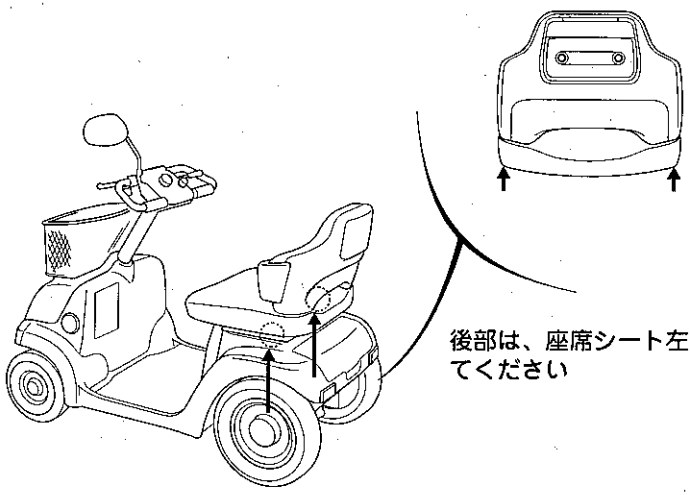
運搬のしかた

取扱いのポイント

- モンパルを手で持ち上げる場合は、指定箇所以外は持たないでください。損傷の原因となるおそれがあります。
- 2人以上で作業してください。



前部は、バンパーの下部にあるフレームを持ち上げてください。



後部は、座席シート左右下側を持ち上げてください

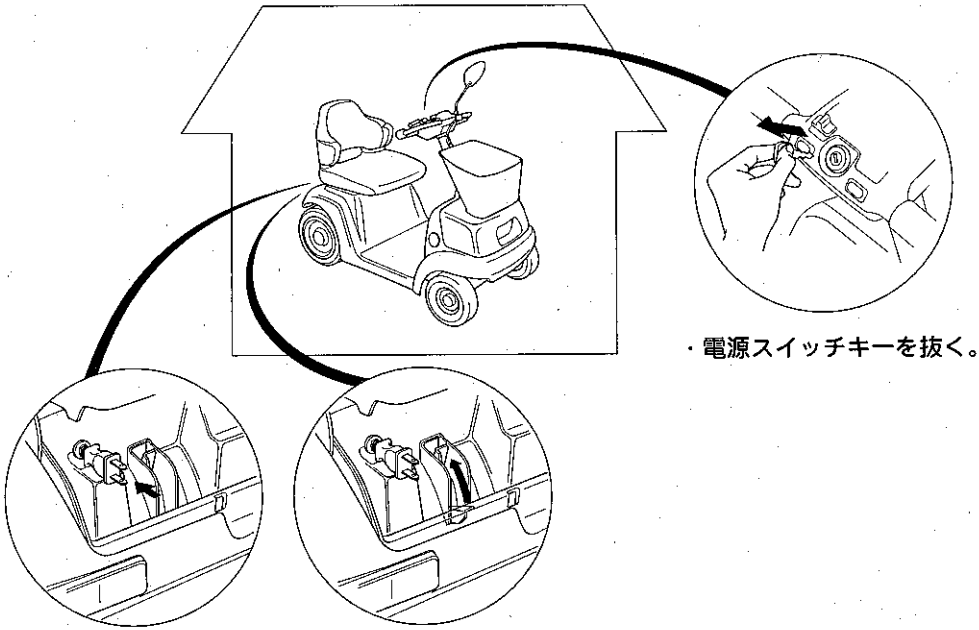
長期間使用しないときの手入れ

運転を終り長時間運転しない場合、または長期間格納する場合は次の手順に従ってください。

取扱いのポイント

- **平坦で、雨・露・直射日光を受けない場所に保管してください。**
- **ゴミ、ホコリの少ない場所に保管してください。**
- **バッテリーは自然放電しますので保管まえに充電し、その後6か月毎に補充電を行ってください。**

1. 電源スイッチキーを抜いてください。
2. クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）を“自走”の位置にします。
3. 充電コードのプラグをコンセントから抜いてください。



・電源スイッチキーを抜く。

・充電コードのプラグをコンセントから抜く。
・クラッチレバー（自走・手押しの切り換えレバー）を“自走”の位置にする。

故障のときは

モンパルの調子が悪いときは下表にしたがい点検し、処置をしてください。
処置をとっても異常がある場合は、むやみに分解しないで、はやめにお買いあげ販売店へご相談ください。

症　状	点検・処置のしかた	参照頁
走行しない	電源スイッチが“**切**”の位置になっていませんか？ →“**入**”の位置にしてください。	36
	クラッチレバーが“**手押し**”の位置になっていませんか？ →“**自走**”の位置にしてください。	35
	バッテリーの残量が不足していませんか？ →バッテリーを充電してください。	36、55
	走行レバーを握っていませんか？ →走行レバーから手を放し、もう一度、走行レバーを押し下げてください。	45
スピードが出ない	速度設定ノブが低速の位置になっていませんか。 →速度設定ノブの速度を上げてください。	38
	バッテリー残量が不足していませんか？ →バッテリーを充電してください。	36、55
	タイヤの空気圧が減っていませんか？ →各タイヤの空気圧を規定値にしてください。	33
	※急な上り坂では、スピードが遅くなります。 異常ではありません。	—
ブザーが鳴る	電源を切り忘れていませんか？ →電源スイッチを“**切**”の位置にしてください。	43
	急な上り坂を走行していませんか？ →ゆるやかな坂道または平坦路にもどってください。	47
	急坂（過負荷）警報がはたらいていませんか？ →安全な場所に移動し、警報が出なくなるまで停止します。	47
	前進・後進切り換えスイッチが“**後**”の位置になっていませんか？ →異常ではありません。	42

症　状	点検・処置のしかた	参照頁
ブザーが鳴り停止する	段差や溝で動かない状態になっていませんか？ →段差や溝が大きすぎて乗り越えることができません。 回避してください。	48
	バッテリー残量が不足していませんか？ →バッテリーを充電してください。	36、55
	走行レバーを握っていませんか？ →走行レバーを放せばブザーが止まり、再び走行できます。	45
充電コードのプラグをコンセントに差し込むと警報が鳴る 充電中に警報が鳴る	電源スイッチが“入”の位置になっていませんか？ →電源スイッチを“切”の位置にもどしてください。	44
充電コードのプラグをコンセントに差し込んでもバッテリー残量計が点滅しない	ヒューズが切れていませんか？ →新しいヒューズと変換してください。	64
ヘッドライトが点灯しない	ヒューズが切れていませんか？ →新しいヒューズと交換してください。	64
	電球が切れていませんか？ →新しい電球と交換してください。	66
ウインカーが点灯しない	ヒューズが切れていませんか？ →新しいヒューズと交換してください。	64
	電球が切れていませんか？ →新しい電球と交換してください。	—

故障診断機能

次の点検はお買いあげいただいた販売店で行う項目です。

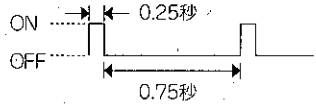
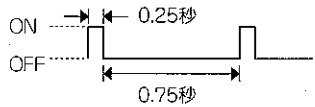
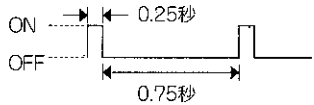
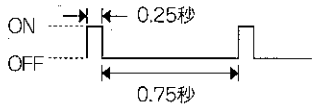
異常にお気づきの場合は、お買いあげいただいた販売店へお申しつけください。

※以下の診断項目で2秒間ブザーが鳴った場合、同時に左右のウインカーが点滅します。

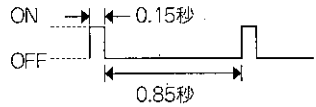
（警報インジケーターの状態 （◎：点灯、☼：点滅、○：消灯））

診断項目	内　　容	ブザーの鳴り方	警報インジケーターの状態
逆走防止	登坂時に過積載・急坂登坂等により、逆方向に走行してしまった場合に発生します。使われ方を確認してください。	2秒間鳴ります。	☼ ○ ☼ ○ ☼
走行速度オーバー	車速設定値よりも、車速が増速してしまった。使われ方を確認してください。 過積載・急坂降坂	2秒間鳴ります。	☼ ○ ☼ ☼ ○
停止時走行	過積載で電磁ブレーキの容量以上になり坂道でずり下がってしまった。 使われ方を確認してください。	2秒間鳴ります。	○ ☼ ☼ ○ ☼
バッテリー電圧異常	バッテリー過放電時で電圧が低下してしまった。外部充電器等の使用で高電圧が接続された。	2秒間鳴ります。	☼ ○ ○ ○ ☼
モーター駆動回路異常	コントローラー内部回路、または回転センサーの異常、またはハーネスの異常です。	2秒間鳴ります。	☼ ○ ☼ ○ ○
運転制御回路異常	コントローラー内部回路の異常です。 電磁ブレーキの故障・カプラー接続不良、またはハーネスの異常です。	2秒間鳴ります。	○ ☼ ○ ○ ☼
インバネ異常	インバネの異常、またはハーネスの異常です。	2秒間鳴ります。	○ ☼ ○ ☼ ○

（警報インジケーターの状態
（◎：点灯、⊛：点滅、○：消灯））

診断項目	内　　容	ブザーの鳴り方	警報インジケーターの状態
回転検出異常	モーター回転検出基板の異常、ハーネスの異常、またはコントローラー内部回路の異常です。	2秒間鳴ります。	○ ◎ ◎ ○ ○
過電流異常	走行中の衝突、急な下り坂、過積載で異常過大電流が流れた。	2秒間鳴ります。	○ ◎ ○ ◎ ◎
充電異常（充電時）	充電器の異常、バッテリーの異常、またはコントローラー内部回路の異常です。	2秒間鳴ります。	○ ○ ◎ ◎ ○
充電異常（電源スイッチ“入”の位置）	走行前に充電器の異常が発生しています。充電器の点検をしてください。	 電源スイッチを“入”の位置にしたとき、自己診断が行われた後、上記の間隔で10秒間のみ鳴ります。	○ ○ ⊛ ⊛ ○
ライト制御異常	バルブ切れ、コントローラー内部回路の異常です。またはハーネスの異常です。	 電源スイッチを“入”の位置にしたとき、自己診断が行われた後、上記の間隔で10秒間のみ鳴ります。	○ ○ ○ ⊛ ⊛
温度検出異常	モーター温度センサーの異常、またはハーネスの異常です	 電源スイッチを“入”の位置にしたとき、自己診断が行われた後、上記の間隔で10秒間のみ鳴ります。	○ ○ ⊛ ○ ⊛
メモリー異常	コントローラー内部回路の故障です	 電源スイッチを“入”の位置にしたとき、自己診断が行われた後、上記の間隔で10秒間のみ鳴ります。	⊛ ⊛ ⊛ ○ ⊛

（警報インジケーターの状態
（●：点灯、✳：点滅、○：消灯））

診断項目	内　　容	ブザーの鳴り方	警報インジケーターの状態
過熱	モーター温度センサー、コントローラー内部温度センサー、またはハーネスの異常です。	2秒間鳴ります。	○ ○ ● ● ●
過負荷	モーター電流が過大です。	 上記の間隔で鳴ります。	○ ✳ ○ ✳ ✳
バッテリー残量不足	バッテリーが劣化して電圧が低下していることが考えられます。	2秒間鳴ります。	● ● ○ ○ ●
モーターロック	モーター軸とミッションの結合部の不良、電磁ブレーキの固着等でモーター軸がロックしています。	2秒間鳴ります。	● ○ ○ ● ●
リセット異常	履歴モードのリセット時、誤操作が考えられます。	2秒間鳴ります。	● ● ○ ● ●
異常なし	コントローラーの初期出荷状態で、異常なしの表示です。	ブザーは鳴りません。	○ ● ● ● ○

定期点検整備の記録

点検箇所	点検内容	1か月	6か月	1年	1年半	2年	2年半	3年	3年半
ハンドル	ゆるみ、ガタ								
	左右のスムーズさ、異音								
	左右の切れ角								
	旋回時減速機能								
	ロック解除レバーの作動								
	バックミラーの調整、汚れ								
走行レバー	作動およびもどり具合								
	握り込み停止機能								
速度設定ノブ(つまみ)	作動								
前進・後進切り換えスイッチ	作動								
ホーンスイッチ	作動								
ウインカー(方向指示灯)スイッチ	作動								
ヘッドライトスイッチ	作動								
手動ブレーキレバー	手押し状態での手動ブレーキの効き								
	ブレーキケーブルの損傷								
	ブレーキケーブルのあそび								
	ブレーキケーブルの荷重								
駆動部	モーターの回転状態(異音などの有無)								
	走行のスムーズさ								
	クラッチレバーの作動								
	ブレーキ(電磁ブレーキ)の効き具合								
	オイルもれ								

点検箇所	点検内容	1か月	6か月	1年	1年半	2年	2年半	3年	3年半
バッテリー	バッテリー残量計の表示状態								
	外観の変形、損傷								
	ターミナルのゆるみ								
充電器	コードリールの損傷								
	充電時のバッテリー残量計の表示状態								
タイヤ	空気圧								
	亀裂、損傷								
	摩耗具合								
	前輪のトーイン量								
その他	異音、作動のスムーズさ								
	ボルト、ナットのゆるみ								
	変形、損傷								
	ケーブルの損傷								
	カプラのゆるみ								

第4部
データ

同梱部品の組み付けかた 78
主要諸元 81
索　　引 82

同梱部品の組み付けかた

次の手順と要領で同梱部品を組み付けてください。
なお、説明に使用しているイラストが一部実車と異なる場合がありますが、取り付け関係は同じですのでご了承ください。

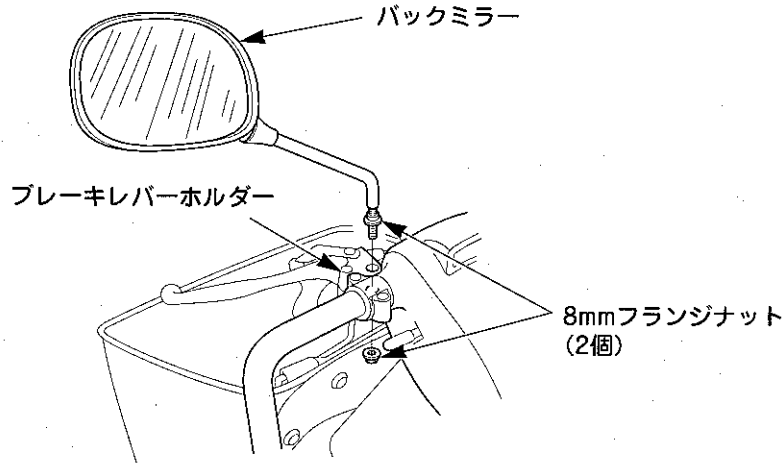
同梱部品

同梱部品を確認してください。

- バックミラー..... 1個
- 8mmフランジナット..... 2個
- 前輪ホイールキャップ..... 2個
- 後輪ホイールキャップ..... 2個

バックミラーの組み付け

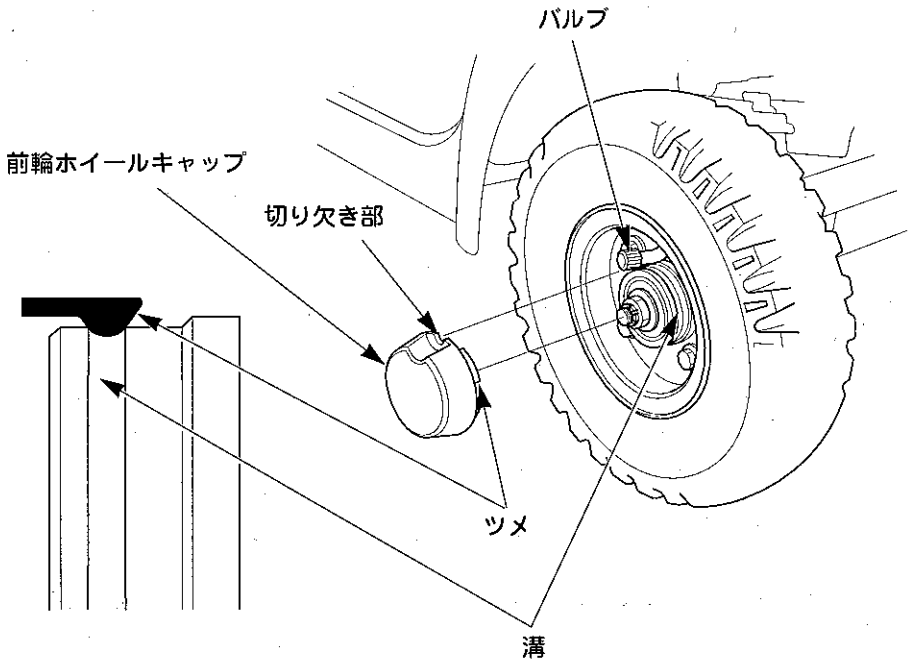
1. バックミラーに8mmフランジナット1個を取り付け、ブレーキレバーホルダーに取り付けます（ナットのフランジ面がブレーキレバーホルダー側になるように取り付けます）。
2. 下側から8mmフランジナット1個で仮締めします。
3. シートに腰かけた状態で後方が正しく映るように調整して8mmフランジナットを確実に締め付けます。



前輪ホイールキャップの取り付け

1. 前輪ホイールキャップの切り欠き部をバルブの位置に合わせて、ツメ（4ヶ所）が溝に確実に入るように押し込みます。
2. 前輪ホイールキャップを回して、確実に取り付けられていることを確認してください。

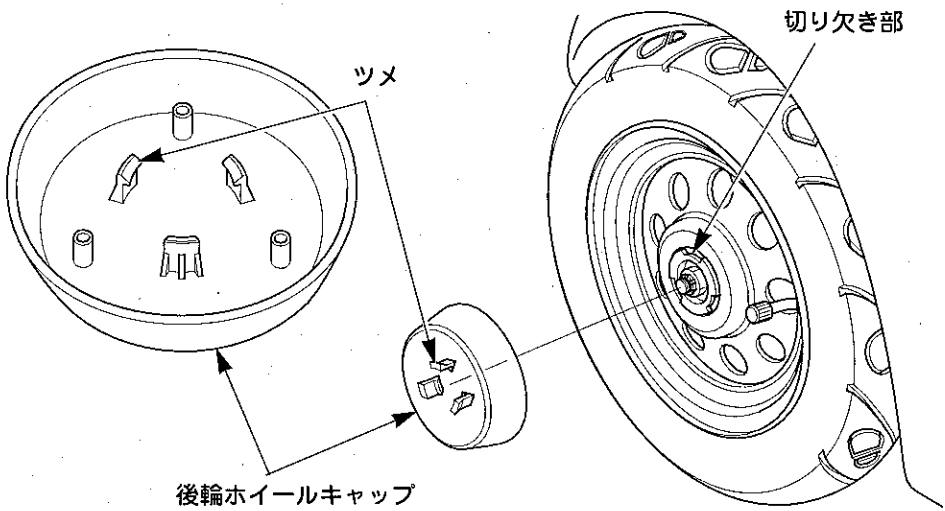
反対側も同様に取り付けます。



後輪ホイールキャップの取り付け

1. 後輪ホイールキャップのツメ（3ヶ所）をホイールの切り欠き部に合わせて押し込みます。
2. 後輪ホイールキャップを回して、確実に取り付けられていることを確認してください。

反対側も同様に取り付けます。



主要諸元

諸元	名　称		電動四輪車いす（ML100）
	型　式		UDAA
	寸　法		1,190×680×1,080mm
	本体重量（バッテリーを含む）	J	92kg
		J2、J3	94kg
	車　輪	前　輪	3.00−4
		後　輪	70/100−8
	駆動方式		後輪軸駆動（トランスミッション付き）
	制動方式		電磁ブレーキ・機械式手動ブレーキ・電気式停止回路機構
	操舵方式		ループハンドルによる前輪操舵
	制御方式		走行レバーによる無段階速度調整機能付き
	バッテリー（5時間率）		12V-35Ah×2個（シールドバッテリー）
	原動機モーター	型式	GMAG（DDB2075−Z）
		定格電圧	24V
		定格出力（30分）	360W
		定格時の回転数	3,000rpm
	ヘッドライト		24V/15W
	ウインカー		24V/5W×2個
	充　電　器		マイコン自動充電器内蔵（温度補正付き） スイッチング充電器
	シート寸法	幅	490mm
		奥行き	400mm
		背もたれ高さ	340mm
走行性能	走行速度	前　進	1〜6km/h
		後　進	1〜2km/h
	実用登坂角度		10°
	段差乗り越え高さ		90mm
	溝乗り越え幅		120mm
	最小回転半径		1,470mm
	連続走行距離（バッテリー容量の70%消費）		25km（最高速度、平坦路）
	使用者最大体重（積載物を含む）		100kg
	使用温度範囲		−5〜40℃

この製品は、JIS−T9203「電動車いす」の基準に基づいて設計されており、国家公安委員会の型式認定を受けております。型式認定番号　交K98-6（型式認定マークは機体後部に貼付）

索引

【あ行】
アームレスト 30
ウインカースイッチ 27
運搬のしかた 68

【か行】
緊急事態の回避方法 50
クラッチレバー 29
警報機能 42
　ウインカースイッチ作動時の警報 43
　後進時の警報 42
　誤発進防止警報 44
　急坂（過負荷）警報 47
　ヘッドライト点灯・消灯時の警報 42
　充電中走行防止警報 44
　旋回時減速機能 45
　走行中前進・後進切り換え時停止機能 44
　電源スイッチ切り忘れ防止機能 43
　握り込み停止機能 45
　バッテリー過電圧警報 48
　バッテリー残量警報 46
　ブレーキロック停止機能 45
　ヘッドライト／ウインカー（方向指示灯）自動消灯機能 27
　モーターロック保護警報 48
降車するときは 41

【さ行】
充電のしかた 55
手動ブレーキレバー 28
乗車するまえに確認してください 35
前進・後進切り換えスイッチ 24
走行するにあたって 35
走行するまえの点検（日常点検） 31
走行レバー 25
走行練習のしかた 52
速度設定ノブ（つまみ） 25

【た行】
定期点検項目 60
手押し移動するときは 49
電源スイッチ 24
同梱部品の組み付けかた 78
取扱説明書の収納場所 30

【は行】
バスケットクリップ 29

Honda汎用製品についてのお問い合わせ・ご相談は、まず、
Honda販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記の
お客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　　お客様相談センター

フリーダイヤル　　0120－112010（イイフレアイオ）

受付時間　　9：00～12：00　　13：00～17：00
〒351-0188　埼玉県和光市本町８－１

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

Honda汎用製品に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①製品名、タイプ名
②ご購入年月日
③販売店名